



INSTRUCTOR

第25号

日本スキー指導者協会会報

2009年10月 1日発行

巻頭言

就任のごあいさつ



会長 坂本祐之輔

この度、日本スキー指導者協会の会長に就任させていただきました坂本祐之輔でございます。よろしくお願ひ申し上げます。

私は昭和30年（1955年）に埼玉県東松山市に生まれ、料亭の長男として育ちました。父は学生時代に剣道や空手を愛好し、母は卓球の選手として国体に出場するなど、両親ともにスポーツマンの家庭で育った私は、幼い頃からスキーを始め、柔道、空手、ゴルフなど、様々なスポーツを経験することができ、そのおかげで、現在のスポーツの道に進むことができました。

現在では、埼玉県スキー連盟会長、並びに（財）埼玉県体育協会会長、都道府県体育協会連合会会長に就任するとともに、さらに本年度からは、（財）日本体育協会理事として日本スポーツ少年団本部長を拝命させていただき、全国のスポーツ少年団の育成や、国体を始めとする日本のスポーツ振興に力を注いでいるところでございます。

現在、少子高齢化や国際化、環境問題等、様々な社会情勢が変化をし、多様化社会を迎える中、スポーツに対する人々のニーズもまた多岐に渡っております。また、昨年から続く経済危機により、スポーツ界は大変厳しい状況に直面しております。スキー・スポーツにとりましても、大変大きな岐路

に立たされていると言っても過言ではありません。このような情勢下、今後さらに研鑽を積み、スキー界の発展に寄与してまいりたいと考えております。

私は、地元の子ども達に、私が子供の頃に味わったスキーの楽しさや素晴らしさを経験して欲しいという思いから、毎年小学生300人を対象に2泊3日のジュニアスキー教室を開催しております。

晴れた日の朝、前日降り積もった雪がキラキラとダイヤモンドのように輝く中、美しいピステを滑り降りる爽快感は何ものにも替えがたいものです。ところどころの新雪に足を踏み入れ、雪けむりを上げて滑走する爽やかさは、まさに想像を超える楽しさであります。

極地探検家、また近代スキーの父といわれるフリチョフ・ナンセン（1922年ノーベル平和賞受賞）は、スキー賛歌の中で、「あらゆるスポーツのなかで、その王者に値するスポーツがあれば、それはスキーである。」と書いておりますが、スキーは、まさに自己実現・自己創造に最適なスポーツであります。また、滑る楽しさのみならず、自然と直に接し、多くの友人や仲間と一緒に過ごす中に至福の喜びを見出すことできるスポーツであり、スキーを通じて出会

った多くの素晴らしい仲間は、私の人生の宝であります。

今後、私はこのスキースポーツを、障害の有る無しに関わらず、又小さな子供から高齢者まで、より多くの方々に愛好していただき、その素晴らしさや感動を共有していきたいと考えております。

現在、地球温暖化や全国的なスキー人口の減少、スキーフィールドの閉鎖など、私達スキー人を取り巻く環境は大きく変化をしております。しかし、スキースポーツがより多く

の人々に愛好され、その輪が広がりをみせることで、富士山の裾野が大きく広がるよう、その頂上もまた高くなると確信しております。私はスキースポーツをより多くの方々へと伝えていく案内人として、これからも自らの人間性や技術を磨いていくとともに、スキー指導者の育成・技術向上に励んでまいります。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いを申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。



※自己紹介

生年月日	1955年（昭和30年）1月30日
出身地	埼玉県東松山
好きな言葉	明るく元気にさわやかに
趣味・特技	スキー（正指）、ウェイトトレーニング、ジョギング、釣り、ボート（1級船舶免許） 将棋（二段）、エレキギター、テナーサックス、空手（2段）、ボウリング、ゴルフ等

※経歴

- 1979年（昭和54年）3月 日本大学文理学部卒業
1984年（昭和59年）10月（有）料亭坂本屋代表取締役就任
1987年（昭和62年）5月 東松山市議会議員
1990年（平成2年）1月（社）東松山青年会議所理事長
1994年（平成6年）8月 東松山市長 現在4期目

※主な役職

都道府県体育協会連合会	会長
財団法人埼玉県体育協会	会長
財団法人日本体育協会	理事
埼玉県スキー連盟	会長
大東文化大学	特別招聘教授
武藏丘短期大学	客員教授

特集

今スキー指導者は何を為すべきか？

I V S I 名誉会員
S A J 教育本部アドバイザー
福岡 孝純

現在、我が国のスキー人口の落ち込みは激しく、このままでは次の世代にスキーの楽しさを継承しうるかどうかという危機的な状況にある。スキー人口の大幅な減少には、種々の解析や理由づけがなされている。しかしながら、そのどれもがもっともらしいことを言いながらも、適切でないと思う。それは、一言で言えば、これらの理由が相対的なものばかりだからである。人間は本当に好きなことがあれば、それに没頭し、命をすらかける。恋愛をしている人にとっても、“惚れれば千里も一里”である。いかなる障害、野次馬が入ろうとも、人間は自分の思いを遂げようとするものだ。吉田松陰は、「かくすればかくなるものと知りながらやむにやまれぬ大和魂」と詠んだが、私たちは、スキーの魅力が愛と同じように理屈を超えた、人間の魂を根底から搖るがすものであることを知らねばならない。小手先の枝とか、小手先の理屈では駄目なのだ。

ノルウェイの赤ちゃんはスキーを履いて生まれてくると言われるが、現実には、スキーは誰もが初心者としてスタートする。スキーの魅力は、身体的、精神的、社会的なものを包括した全人格が関与することである。白銀の世界に憧れた人が、初步的なスキーの習得から始まり、上達するにつれスリル・スピードを追求し、自在にスキーを操作できるようになり、飛鳥のように斜面を滑り降りる快感、雄大な自然の美しさに惹かれ、抱かれる満足感を得る。また、同好の人々が集い、供勵、共感し、楽しみを分かち合う素晴らしさを体験する。このようなプロセスのなかで、スキーヤーはより広く、より深く、自然や人間の魅力を見出すようになるのだ。

私の父・福岡孝行は、我が国で初めての35mmトーキーによるスキー映画『スキーの寵児』(昭和12年帝劇にてロードショー)を制作した。この映画は、大正10年にアーノルド・ファンク博士が制作し、ハンネス・シュナイダーが主演した『スキーの驚異』に触発されてつくられた。史上初めて35mmトーキーや高速度撮影による運動分析の手法を取り入れており、孝行はこれに強い影響を受けたのである。ファンク博士は、昭和5年に映画と同名の著『スキーの驚異』も出版している。

『スキーの寵児』には、当時各スキー場に割拠していた自称・他称のスキー名人が総出演し、競演して、スキーの素晴らしさ、その魅力を存分に描き出した。この映画の中で、ヨーロッパのスキーの魅力は、日本人スキーヤー達の名演技がビジュアル化されたことにより、日本独自のものとして定着したのである。アルピニズムに遅れはしたが、アルペンスキーが確立し、雄大なスキー・アルピニズムの基礎が築かれたのだ。

奇しくもこの年は、12試艦上戦闘機といわれた、いわゆる零戦のスタートの時でもある。世界的に著名となったこの軍用戦闘機を生み出すような、軍国主義

的な世情のなかにあっても、高らかにスキー・スポーツの魅力を発信し、提示したことは賞賛に値する。この映画には、日本のスキー名人が一堂に会しており、後のインターナショナルの先がけともいえる性格を有している。映画の主題歌は、高木東六作曲、長門美保の歌唱であるが、歌詞は孝行が原文を作成したと聞いている。

スキーの寵児

- 一、晴れわたりたる青空 ゆきはら
輝き満てる雪原
遠き山連なり ブドウ色に浮ぶ
丘をすべりて谷間へ 木立ぐりて出で湯へ
雪煙あげつつ いつか裾野につきぬ
風を切りてすべる嬉しさ
われを包む雪の柔らか
今は在らず山は遙か
雪山の樂しければ かくも切なく
目に浮ぶ
- 二、雪の拡がる青空 樹氷凍れる丘の上
遠き山消え去り 粉雪風に散る
友の姿いざこぞ 風に舞い舞う粉雪
吹雪走りて舞い 別れ別れに去りぬ
雪はやみて 静もれる山
真昼眠る 温かき山小屋
高くそびゆ 銀の峯ぞ
雪山の聖らなれば かくも切なく
目に浮かぶ

この歌には、スキーの原風景ともいえる魅力が描き尽くされている。『スキーの寵児』上映後に刊行された孝行と肥田正次郎共著の『シュプール』という本は、スキーの魅力と技術を記述し、スキーの秘訣（本質）とは何かということを、当時のスキー界の名人にインタビューしている。それらのいくつかを紹介する。

曰く、スキーの秘訣とは、

- ・直滑行五年間 一笠川速雄
- ・テンポをとらえる 一京極高光
- ・肩を入れること 一大熊勝朗
- ・自然—技術—精神の融合一致 一高橋健治
- ・全身の前傾 一馬場忠三郎

等々…

孝行は、色々な名人の秘訣を総括して、また、ファンク博士の『スキーの驚異』の理論にも言及し、確かにハンネス・シュナイダーの滑りは天才的ではあるが、その主張する体験的なホック（前かがみ）姿勢には批判的であった。むしろ、軽快な動作が可能でバランスを取りやすく、生理的負担のないのは、直立した高い姿勢であり、スキーに効果的なエッジングをして舵取りを行ってゆくには、適度な前傾に加えて外向・外傾と谷足荷重が重要であると述べている。



そして、スキーの指導にあたっては、一般スキーヤーが対象であることから、できるだけ楽に、楽しく、そして早く上達させることが肝要としている。それとともに、選手の指導については、最も重要なのは、選手の自主性・自律性で、コーチは冷徹なるオブザーバーとして選手の能力を見出し、自信をつけさせることだとしている。これは、誠に先見の明がある。戦後、1950年代にマットやクルックケンハウザーのオーストリア技術がスムースに導入されたのも、戦中戦後の困難のなかで、『シュプール』で述べたことの実証への孝行の努力が『今日のスキー』『自然なスキー』『正しいスキー』などの著書として積み重ねられたからに他ならない。日本は、世界に先駆けて早くからスキーの正道を見つけていたのだ。

それでは、現代の我々にとって、スキーの秘訣とはどのようなものであろうか？私は孝行が考えた大自然の中でのスキーを中心としつつも、スキーの魅力を真に味わうためには、上達するにつけて、大自然の中での行動半径の拡がりとともに、精神的に心象風景の中にも深く分け入っていくことが大切だと考える。身体性と精神性がつながる過程で、スキー活動の原動力となるロマンが生まれ、外界と内界（精神界）との振子のような交流により、スキー活動の魅力が増していく。

外界と内界との自在な交流性のある芸道を確立したものに、中世の能楽師である世阿弥がいる。その著『花伝書』で、世阿弥は、能楽の魅力は花であるが、その究極の花の魅力は“秘するが花”であると述べた。究極の魅力としての花は、最初は“時分の花”（流行、見てくれるのよさ、若さゆえの美しさ）から入るが、稽古を重ねるにつれ“工夫の花”へ、心技体の一致とともに技が成熟してくると、季節性や演目にも多様な変化が生まれ、“年々去來の花”へ至る。見る人の心の打ち方も、“珍しきが花”から“美しきが花”となり、最終的には一切の無駄を取り去ったいわゆる“幽玄”的境地に至り、“秘するが花”となるという。このような境地では、心を十分に身を七分にとしている。別の言葉で言えば、そのときの技術は自らの心から湧き出したオンリーワンの表現であり、他人の模倣や再現ではないということだ。

スキーヤーが技術の練磨を積むと名人になる。しかし、最近のプレーヤーの滑りをみると、個性がなく金太郎飴のような感がするのは否めない。これは、世阿弥が言うような、心が身体に反映されていないからではないか？スキーは、誰もが名人になるわけではない。そして、何といってもプレイには、楽しい遊びの要素が大切である。“一寸の虫にも五分の魂”で、どんなスキーヤーもオンリーワンの存在である。スキー指導者は、専らに規範的に技術を押し付けるのではなく、一人ひとりにピントを合わせ、各人が充分にスキーの

魅力をつかみ取れるようなレッスンが行えなければならない。技術そのものは単なる手段にすぎない。スキーの包括的な魅力を伝えられる指導者が減少したことが、現在のスキー人口の大幅な落ち込みをもたらしたのだ。スキーの魅力は、単なるブームやファッショングでとらえてはならない。

スキーの指導者には、プロとアマがいる。それぞれの役割はどうあるべきだろうか？元来プロフェッショナルとは、文化の継承者、宗教の伝道者を意味し、ひとつつの規範や教義を人々に伝達するという役割を有していた。与える人、本職の人、玄人、つまりアウト・リーダーである。これに対して、アマチュアとは、愛好家、受け容れる人、生きる力を自ら創り出す人である。発電機の回転子のことをアマチュアといい、アマチュアがなければ発電は行われない。自ら回転スピンドルにより方向性を与える人、アマチュアが決定的に重要である。アマチュアが多数存在して初めてレッスンプロの出番がくる。アマチュアのリーダーは、仲間の中から出るインリーダーであり、リーダー中心に人が渦をつくり、クラブが生まれ、人が集う。優れたアマチュアの指導者を増やさねば、スキー人口は増えない。かつて、指導者はどちらかというと、生徒より一段上に立ち、技術を指南しがちであった。しかし、今日では、目線を合わせ、スタンスを取り、“スキーの喜びを分かち合う仲間である”という基本的認識が必要である。

「スポーツは結びつけ、命を与える」とオーストリアのスポーツの哲人であるヨゼフ・レックラー教授が述べたが、スキーの様々な魅力を共感、共有して初めて素晴らしいスキー人生は教え得るものである。技術選手権は、確かにトップテクニックである。しかし、誰もがエベレストの頂上を目指すわけではない。サミット指向、資格指向、バッジテストだけではなく、スキーを未だ知らない人々に神秘性を有した素晴らしいスキー文化を紹介できる者が必要である。厳しすぎる高山には、花も咲かないし、小鳥もさえずらない。私たち指導者、特にアマチュアは、今こそ花咲き鳥歌う、スキーの桃源郷づくりを目指さなければならないのである。

名アルピニストであるラインホルト・メスナーは、「登山は愛である」といい、「山登りはただ始めさえすればよいものなのである」と言った。スキーを目指す人々に、この言葉を伝えたい。そして、亡き父孝行が『シュプール』の巻尾に記した言葉「今スキーこそ命なのだ」といった心境に達したいものだ。



S A J 情報

平成22年度 全日本スキー連盟日本スキー指導者協会総会議事録より

①教程改訂について

新教程は、9月上～下旬に発刊予定なので各地での理論講習会には間に合う見込み

②検定員規程について

教程の改訂をうけて検定員規程も改訂になる、教程発刊後になるのではないか

③潜在スキーヤーが戻ってくることを願っている

スキー界を取り巻く環境は大変厳しい、レジャーに費やす支出は右肩下がりであり、このような中でどのように頑張っていくか、潜在スキーヤーの呼び戻しにS I Jが一つの核になるとも認識しています。

S. A. J. 2009-2010 教育本部 スケジュール 抜粋 (その1)

スキーユニバーシティ	第1会場：北海道：朝里川 第2会場：新潟県：上越国際	A:10.01.08(金)～11(月)B:10(土) A:10.01.14(木)～17(日)B:16(土)
生涯スポーツスキー指導者 講習会	会場：岐阜県：飛騨高山	10.01.14(木)～17(日)
指導員検定会	第1会場)北海道：朝里川温泉スキー場 第2会場)青森県：大鰐温泉スキー場 第3会場)群馬県：ホワイトワールド尾瀬岩鞍 第4会場)福井県：和泉スキー場 第5会場)兵庫県：奥神鍋スキー場	10.02.19(金)～2.21(日)
A級公認検定員検定会		10.02.19(金)～2.17(土)

S. A. J. 2009-2010 教育本部 スケジュール 抜粋 (その2)

SAJ公認スキー学校 代表者会議	東京都 日本青年館ホテル	09.10.17(土)
ブロック技術員研修会	北海道 札幌国際 東北 蔵王温泉 群馬県 鹿沢スノーエリア 南関東(1) 長野県熊の湯 南関東(2) 長野県草津高原 甲信越 新潟県苗場 東海・北陸 岐阜県ウイングヒルズ 西日本 長野県熊の湯	09.11.27(金)～11.29(日) 09.12.04(金)～12.06(日) 09.12.04(金)～12.06(日) 09.11.28(土)～11.29(日) 09.11.27(金)～11.29(日) 09.12.06(日)～12.08(火) 09.11.27(金)～11.29(日) 09.11.27(金)～11.29(日)
第7回全日本スノーボード 技術選手権大会兼デモ選	新潟県石打丸山	10.03.04(木)～03.07(日)
第47回全日本スキー 技術選手権大会	長野県：白馬八方尾根 日韓交流事業：技選に招聘	10.03.08(月)～03.13(土)
中央研修会	長野県：熊の湯	09.11.20(金)～11.23(月)

詳細は教育本部日程 <http://www.saj-edu.ne.jp/>

スキー界の発展はまさに強い意志で

幹事長 水島 秀夫

日本列島を民主党の激風が一過した8月30日であった。様々な論評がマスコミ界を揺るがせている。日本スキー指導者協会は去る7月26日に総会が開催され、坂本祐之輔新会長を迎へいよいよ新年度のスタートを切った。時代に即応した抜本的な規約改正により、各行事の刷新をはかり、入会し易くかつ遊び心を取り入れた楽しいスキーを全面に打ち出した企画を新体制で実行したい。健全財政の確立にもつながるのではないかと期待します。

スキー界に吹き付けるアゲインストの風を跳ね返すには、単なる進歩では駄目で、大きな発展が必要と考えます。振り返って見ると、アポロは何故月に到着出来たか? ロケットをいくら進歩させてもそれは単なるロケットであり、人口衛星にはならない。遅れを取ったNASAがどうしても月に着陸するという強い意志があり、進歩から発展への想像を絶する努力は宇宙技術の進化論と言われた。今我々指導者に課せられたスキー界の発展はまさに強い意志で、どうしても発展させるという信念が必要と考える次第です。S A J の懸念事項として資格者の登録減少化に歯止めがかからない現状です。スキー界の先達としてのアイデンティティーを私を含めて見失っているのでは無いでしょうか。今一度先人達のS I J 結成の理念に立ち返り、現状を分析し会員(指導員)の活用方法をみなさん方のご意見を賜りながら、実現に向けて邁進致したいと思います。スノースポーツに対する公的な助成システムの研究、青少年育成基金等の調査、社会に還元できるものは何かなどについて、特別研究班を立ち上げたいと考えます。具体的にはジュニアの育成、団塊世代から続々参入するシニアの取り込みを、地域総合型スポーツ拠点などを活用し、通年スキー滑走をしながら強化・育成出来

る事を夢見て頑張るつもりです。以下は最近私がとても感動したフォークデュオゆずの歌声です。高校生に圧倒的な人気の曲です。日本スキー指導者協会へのメッセージとして私的に言わせて頂きまと、この困難な時代に仲間で肩を組んで頑張って行こうではないかという応援歌です。

S I J 設立30周年記念にこぎ着けるには

決して平らな道ではなかった けれど確かに歩んできた道だ
何度も何度もあきらめかけた 夢の途中
いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある
だからもう迷わずに進めばいい
栄光の架け橋へと

多くの先人達のスキーに傾けた熱い情熱の裏には

誰にも見せない涙があった 人しぬれ流した涙があつた
いくつもの日々を越えて 辿り着いた今がある
だからもう迷わずに進めばいい
栄光の架け橋へと

スキー産業の衰退から、私をスキーに連れて行っての、

1960年代の夢の時代に再び

勇気を持って迷わず挑戦しようでは無いか。

悲しみや苦しみの先にそれぞれの光がある
さあ行こう振り返らずに走りだせばいい
希望に満ちた空へ · · · · ·
栄光の架け橋へと

終わらないその旅へと (栄光への架け橋より)



指導者団塊世代の役割を再認識しよう

SIJ幹事

中村啓二郎

大衆のスキースポーツが、定着するに至ってやがて一世紀になる。

この間、各指導者達は、時代の要求に対応しながら世代的役割を果たして来たのである。

中心的課題には、常にアメニティーなスキー文化を願望し、普遍的なスキー技術の構築を目指してその継承に努力を傾注してきたのである。

しかし、最近の動向では、必ずしも順調とばかりは言えない危惧を感じている。その最大の基因と考えられることが、ここで指摘している「団塊世代の役割」なのである。現代社会での潮流として、楽観視しがちである所に問題点が潜んでいるので、要注意なのである。この団塊世代間の役割分担と継承に十分で慎重な検討を期待し、ここで、提起したい。

最近のスキー技術の進展には「究極のパラレル」に

迫るという課題認識が高まって成果をあげている。この要因には、デモンストレーターの活躍は当然であるが、直接の強化グループとしての「イグザミナー」の充実であろう。更に全体的な支持母体としての専門委員会が有効な役割を果たしていると推察できる。連盟世代の全体像を十分認識して①われわれ指導者間での自主的ゼミの交流を深め合うこと②指導者が、直接に接し合う大衆スキー選手にたいしての啓蒙や活動に特色をもった展開をすること。の二大目標を指導者全体の中で、団塊世代の役割を發揮すべきと考える。

更に大きな展開としては、福岡孝純氏が先鞭をつけている「地域統合型スポーツクラブ」への構想も十分に検討する価値があると考えられる。



【北海道】北海道スキー指導者協会

北海道スキー指導者協会の歩み その2

理事長 藤島 勝雄

昭和27年10月1日、北海道一般スキー指導員会として発足した本協会が、機関誌「シュプール」の発行などによって活動を活発化してきたが、指導員の増加に伴う道連教育部の増大により、指導員会との二重構造の弊害が出てきて、昭和41年1月シュプール7号が発行されて以降、13年間に亘って活動が休止した。

昭和54年4月道連教育部理事会において、北海道基礎スキー指導員会の再起が話題となり、再起検討委員会を経て、昭和54年10月13日再起設立総会が開催された。これを機に活動が再び活発化し、シュプールの復刊、支部、会員の増加となり、これらの活動の高まりが後に日本スキー指導員会の発足へと繋がっていくことになる。

◆6、再起後活動活発化し、支部、会員共に増加

◆昭和57年度 代議員会及び支部長会議

S56, 10, 25札幌クラブ

1、経過報告 (27支部、1,791名)

2、会計報告 総予算 150万円

3、審議事項

事業計画などは、組織が混乱しているので提案できず、代議員、支部長の意見交換を中心に話し合った。道連と指導員会の機構や組織は違うのだが、誤解されやすい面がある。従つて、指導員会でなければ出来ないもの、今後、文部省やSAJに物を言う場としてこの会の存在の認識を是非持つてもらいたいし、これが、将来メリットとなる展望を持ちたい、ということで各支部の大同団結を期待する声が多く出された。

4、役員改選

会長 柴田信一

副会长 栗林薰、速水潔、小室浪一、佐藤哲郎、音喜多一二
(後に音喜多一二が病気辞任のため坂井監査が副会长に)

監査 二瓶康典、坂井敏夫

幹事 (札幌7名、小樽2名、後志2名、岩見沢1名の
枠を決め、該当地区からの報告を会長が委嘱)

中川伊佐美、飯田誠一、戸塚孝司、近藤晃、伊藤博、榎並利郎、中山寛、嶋本一雄、廣井弘、安田政明

※ 活動再開に向けての各支部の準備が整わず、組織の再建が
なかなかスムーズに行かなかつたことが伺われる。しかし、
「文部省やSAJにものを言う場としての会の存在の認識」と、北海道の指導員会としての氣概が伝わってくる。

◆シュプール第9号(復刊2号)発行 S56, 12, 1

一座談会 「先鋭スキーを目指して」

・出席者：柴田信一（会長）、山谷永蔵（道連教育部長）

北河茂（SAJ教育本部指導部長）、吉田幸一（基礎選1位）

霜鳥敏明、細野 博、紺野光弘、出倉義克、

・司会：藤本 進（SAJ教育本部強化主任コーチ）

—柴田会長の開会挨拶—

北海道のトップ級の若い君達が何を考えているか。前から藤本君や関健太郎君が考え方をジャーナルに書いているが、写真を見ても読んでもよくつかめない。藤本君と話をしたいと言うことで若い人を連れてきてもらってこの会になつた。

<内容> 技法の移り変わり、現在の滑り、技法と用具、荷重と加圧、シュプールの求め方、雪面とのコンタクト

※ 座談会では、本誌59ページ中16ページと多くの紙面を費やしている。柴田先生の技術に対する熱心さが表れている。

※ この復刊2号の大きな特徴は、企業広告を初めて載せたことである。

ミズノ、オガサカ、大和ルスツスキー場、ニセコアルペン山荘、ニセコモイワスキーカー場、石屋製菓、花王ニベア の企業が名前を連ねている。

◆仮称「日本スキー指導員協会」設立発起人会

S57, 8, 28・29田仲旅館（東京）

- 出席者：北海道（柴田会長、中川幹事長）、山形、秋田、宮城、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、大阪から32名

- 設立趣旨：①指導員間の研究交流を計り、指導員の資質の向上を目指す。②SAJの行政の足らざるところを、指導員会同志横の連携を取りあって共通理解、スキー界の進展に寄与する。③SAJの拘束を受けることなく独自の活動をする。

- 名称：(財)全日本スキー連盟 日本スキー指導員会
- この他に、組織結成の手順、活動内容、資金などについて討議され、設立の方向に歩が進められた。

◆昭和58年度 代議員会及び支部長会議

S57, 11, 21札幌クラブ

- 一般経過報告 (37支部、2,663名)

- 会計報告 (252万円)

- (財)全日本スキー連盟 日本スキー指導員会についての報告（中川幹事長）

- 日本スキー指導員会についての活発な討議の結果、58年4月末頃までに全国組織に対する考え方、参加について、各支部会員の意思を集約することなどを決定した。

◆シュプール第10号(復刊3号)発刊 S57, 11, 21

—柴田会長巻頭言—

我々は、指導員団結を呼びかけてきた。なぜか。それは我々の個々の力では、現代のスキー界という大きく、速い流れに対応してゆくことが出来ない。(中略)長い間叫んできたスキー指導者の養成機関、今のスキー行政の中では到底不可能に近い。検定や研修を取り巻く諸問題、一人が幾ら叫んでも馬耳東風である。やはり組織されなければならない。我々は決して圧力団体にはならない。日本の教育行政の正しい進歩のための支えとして存在するだろう。「指導員会存在のメリットは?」と云うことをよく耳にする。物質的なものだったらSAJの組織に入ってほしい。我々アマチュアは、社会体育に奉仕する喜びと、我々の後に続くであろう指導者のために、よりよいスキー環境づくりを使命としたいものである。
—研究—「カービング・ターンへのアプローチ」

小樽 琴坂 守尚

1、カービング・ターンとは

カービング（Carving）の語源は、Carve=彫る、刻むの意。カービング・ターンとは、雪面をエッジで鋭く切り込む、いわゆる「切り込みターン」を意味する。Curve=Curve（曲げる、曲線）と紛らわしい。

①スキーの滑走面ではなくエッジを用いて滑る。充分にエッジを利かして、狭い安定圏の中でのすぐれたバランス能力が必要とされる。②③は省略

2、カービング・ターンの練習プログラム（項目のみ）
イ、外スキーの上でバランスをとる。ロ、スキーを踏みたわませる。ハ、スキーの踏み場所をさぐる。二、スキーを踏む時期をさぐる。

※ 柴田会長の巻頭言には、新しく出来るであろう「日本スキー指導員会」への熱い期待と、SAJに対する「ある思い」を感じます。

※ 琴坂先生の「カービングターン」には驚かされた。SAJが中央研修会（車山）で全国から集まった専門委員・ブロック技術員に副読本「カービングスキーのスキー指導」を配布し、各メーカーのカービング板を試走させたのは、この研究発表の16年後の平成9年11月28日であった。

先日、先生にお話を伺ったところ、「北大の水谷先生の話」とのことでした。

※ 日付を見てお分りの通り、代議員会に合わせてシュプールを発行している。と云うことは、この代議員会で決まった事は次の年のシュプールに載ることになる。前ページの昭和58年度代議員会報告は、次の年の第11号を見て書かなければならぬ。この様な発行形式は平成18年10月発行の第34号まで続く。

7、日本スキー指導員会発足

◆日本スキー指導員会設立準備委員会

S 58, 6, 11 (東京)

・出席者：中川伊佐美（北海道）、金井、西原、瀬川、小林、堀、松浦、三塚、柳沢、清水、小沢、松谷、相沢、津守、菅、岡田（SAJ），

・事務局：服部、林、田仲、荒井、斎田、

・正式名称：(財)全日本スキー連盟 日本スキー指導員会
・活動目的、資格、会費、設立総会時期などを決定した。

※ 北海道は、冠について全日本の隸属機関になるおそれ、国家検定制度発足以後の指導員の掌握、全日本の体質（競技と教育の目的意識の違い）等の立場から反対した。が、冠がないと正式に認められない、専任教師協会より下に見られる、などから（財）日本スキー連盟の冠をつけることになった。

◆昭和59年度 代議員会及び支部長会議

S 58, 9, 25札幌クラブ

・一般経過報告（41支部、会員3,221名）

・会計報告

・討議

①日本スキー指導員会の報告・対応について

②スキー場のペンション・旅館・リフト会社等と契約して割引制度をすすめる、として、ペンション・旅館20軒、リフト会社2社と契約して会員証提示によって割引が受けられる。

・役員改選

会長 柴田信一

副会長 栗林 薫、速水潔、佐藤哲郎、小室浪一、坂井敏夫

監査 二瓶康典、新田利雄

幹事長 中川伊佐美

幹事 近藤 晃、飯田誠一、戸塚浩司、中山 寛、嶋本一雄、榎並利郎、菊池真一郎、伊藤 博、安田政明、福地 白、松川 恒、三岩 昇

◆シュプール第11号（復刊第4号）発行 S 58, 9, 25

—掲載内容—

・会長挨拶 ・研究6名 ・意見3名 ・特別寄稿1名 ・
視察報告2名 ・随想5名 ・支部たより5支部 ・事務局より

※ この号の特徴として

①掲載項目を見てわかる通り、非常にバリエーションに富んだ内容になってきたことである。それに伴い、当然ページ数

も増えてきた。因みに、第8号（復刊1号）90ページ、第9号60ページ、10号98ページ、この号は126ページと前号の3割増しとなった。これは、各支部が北海道スキー指導員会の活動が認知されてきたことと、執行部の充実がこの結果となったのであろう。

②前号に載った広告が消えた。広告を取る余裕が無いほど紙面充実か、会費納入が多くなり広告料が必要なくなったか。いずれにしても、シュプール上に広告は暫らくは顔を出さない。

※ 観察報告として、坂井敏夫副会長（現会長）が、「ヨーロッパのスキー指導者養成をみて」として、1カ月の観察・研修の成果を報告している。

◆「(財)全日本スキー連盟 日本スキー指導員会」創立総会 S 58, 10, 30日本学生会館（東京）

—柴田信一発起人代表挨拶—

かねてより念願の指導員会全国組織が軌道にのってきた事は大変喜ばしい。指導員数が多くなり縦の系列だけでなく相互の意思の疎通、情報通達、コミュニケーションを計る上での指導員会の役割は大である。本日の会議は一指導員の立場で皆さんと共に参画しているが、指導員の身分に関する事については、全日本スキー連盟に諮問されるような会になつてほしいと願っている。

・経過報告 ・規約決定

・役 員

会長 柴田信一

副会長 栗林 薫、堀 修一、小林 茂、菅 秀文、西原 雅、浅井清治郎、丹内正一、松浦益司郎、金井英一郎、

監査 宮本忠五郎、谷 道夫

常任幹事 中川伊佐美、元木義夫、青木巖、林権一、津守達男、吉田晃一郎

幹 事 近藤晃、福地白、松谷富彦、小沢昭寿、須田克彦、古賀澄夫、柳沢須佐男、矢口昭二、小助川瑞雄、岡田興一、荒井哲夫

顧 問 田英夫、天野誠一、山本富雄、福岡孝純、小林作男、西山実幾、瀬川佳男、堀恒也、片桐匡、岸英三、大熊勝郎、児島嘉男、藤巻文司、三塚正二郎、中沢清

※ 柴田会長は、シュプール10号でも述べているように、この指導員会に大きな期待を寄せていることが分かる。他の場面でも、団結、団結することの大切さを度々述べている。

※ 創立総会において、SAJの公認団体として春の評議員会に申請する事を決定していたが、東海北陸、西日本の足並みがそろわないので、北海道の提案通りSAJへの申請を見合わせることとした(59, 5, 20)。

※ この問題は過去だけのものではなく、今まで、同じような事が起こっている。

8、第1回「全道スキー指導員の集い」開催される

◆昭和60年度 代議員会及び支部長会議

S 59, 9, 30札幌クラブ

・一般経過報告（49支部、3,625名）

・会計報告

・提案、審議事項①新資格取得者へシュプールの贈呈②故高橋次郎氏及び柴田信一会長の顕著レリーフの建立

◆シュプール第12号（復刊第5号） S 59, 9, 30

—柴田会長巻頭言「スキー人口が減っている（要旨）」—

ヨーロッパ各地のスキー場で若い人達が少くなり、滑っている大部分は中・高齢者と夫婦者。スキー学校への入校者も、良くて横ばいもしくは減少傾向。

その理由は、若者気質、遊びの多様化、そして一番の問題は、金のかかり過ぎ。靴、板、服装、旅費など。高価なものはそれなりに良いが、安価なものでもスキースポーツの目的は充分に満たすことが出来る。メーカーの皆さんと我々指導員が深く考えないと、日本のスキー界もスキー離れが現われるかもしれない。自縛自縛にならないよう心したい。

—掲載内容—

- ・研究4名 ・意見2名 ・随想5名 ・支部だより 10支部
- ・事務局より ・協定旅館、優遇リフト一覧
- ・特別寄稿—サラエボオリンピックの印象と所感
道連理事長 清野 市治

※ 柴田会長の巻頭言「スキー人口が減っている」は、正にその後の日本のスキー人口の減少になって現われている。確かに中央研修会で福岡さんが「10年度の日本が同じようになる」との警告を聞いたことがある。S A Jはこの警告に、何らかの手を打つのだろうか。

※ この号の特徴は、①支部たよりが大幅に増えた。それも、中身が「指導員100人突破」「指導員スラローム大会」などバリエーションに富んできた、②協定旅館・優遇リフト会社の一覧表が巻末に22社が掲載された。概ね10%引きの金額が表示されている。「利用時には、指導員会の会員証を提示すること」とある。私はこの時の会員証を今でも持っている。シュプールの表紙と同じ“緑色にストック”的デザインである。

◆故高橋次郎氏、柴田信一氏顕彰碑（レリーフ）建立

S 60, 5, 12

- ・全道の指導員3,270名の釈金により、小樽天狗山「スキー資料館」に建立

◆昭和61年度 代議員会及び支部長会議

S 60, 9, 29 札幌クラブ

- ・一般経過報告（52支部、3,758名）
- ・シュプール4,000冊印刷
- ・日本スキー指導員会総会報告

柴田会長「総会の空気として、不備な点が多く北海道は退会したくなるような気分であった。北海道の建設的な意見の懸案事項を、総会にかけない独断的行為にたいし強硬に申し入れた。」

・幹事の選出

札幌中心の選出をやめ、次のようなブロック別選出とした。

道南2名 道西4名 札幌8名 道央3名 旭川2名

道北2名 道東2名

・役員改選

会長 柴田信一

副会長 栗林 薫、速水 潔、佐藤哲郎、小室浪一、坂井敏夫
監査 二瓶康典、新田利雄

幹事 後日、各ブロックから選出

・講演「歩くスキーの現状」

北海道教育大学旭川分校教授 今村源吉

※ 日本スキー指導員会（日指）の創立時の東海北陸・西日本の問題といい、この代議員会での柴田会長の日指総会報告「北海道は退会したくなるような……」といい“指導員会”に対して北海道と他のブロックとでは相当の温度差があるように感じるし、今現在も、会議に出る度に同じことを強く感じる。

※ 加盟支部が全道的に広がり50を超えるまでになった。これにより、札幌中心の役員（旅費関係）だけでは不都合にな

り、全道7ブロック別の幹事推薦となり組織として体を成すようになってきた。しかし、最高決議機関である代議員会の承認を得ないで幹事が決定する不合理が残っており、このことはつい最近まで続いていた。

◆シュプール第13号（復刊6号）発行

S 60, 9, 29

—掲載内容—

- ・項目は前号と殆ど変わらず
- ・特別寄稿 「1985年度全日本教育本部総括」
SAJ 教育本部長 菅 秀文

—この号のみ—

- ・顕彰碑のお札にかえて

5月12日に天狗山で行なわれた「顕彰碑建立」に対して、柴田先生がお札の言葉を載せています。

- ・基礎スキー指導員意識アンケート

—新しい掲載—

- ・会員の訃報

・シュプール編集内容（復刊第1号から前号までに項目を巻末の折込みで掲載）

※ 指導員会組織の充実と掲載内容の多彩さと相俟って、160ページもの機関紙となった。菅S A J教育本部長が「伝統ある“シュプール”に筆を取れと云う光栄に浴した」と書き出しているように、通算13号となり全国的な市民権を得た号でもあった。

◆61年度第1回幹事会開催

S 60, 11, 16

- ・道指導員会主催「全道スキー指導員の集い」の開催を決定
- ・各ブロックから選出された幹事の職務分担

	部長	副部長	担当幹事
総務	福地	大友	吉田、金子、安田、飯島、浜
会計	飯田	戸塚	榎並
事業	近藤	稻村	松川、広山、佐藤、大黒、大塚
広報	菊池	山口	中尾、岡田、原、鈴木

◆第1回「全道スキー指導員の集い」開催

S 61, 7, 26 札幌

—実施内容—

- ・講演会（道立札幌中島体育センター）

①「新日本スキー教程における技術について」 藤本 進氏

福岡孝純氏

- ②「国際スキー情報について」

- ・懇親会（アサヒビール 百景園）

- ・出席者 120名

—柴田会長開会挨拶—

当指導員会も機関誌シュプールの発刊を行なっているが指導員同志が一堂に会する場がということで、今回の企画をしたものである。第1回でもあり種をまく心境である。最近では、日高・十勝など次回の「スキー指導員に集い」開催の希望もあり、全道を7ブロックに分けて開催される今後の「集い」の成果を期待したい。

※ 今年7月、三浦雄一郎氏をお招きしての講演と、指導者制度制定70周年記念事業を併せて開催した「集い」は、ここからスタートした。本協会の「会員相互の親睦と研究交流」の目的を達する為の活動の柱として、何回かの中止はありながらも今回の旭川大会で22回を数えることが出来た。柴田会長の「今後の集いの成果に期待したい」の期待に応えるべく、今後とも開催体制の強化と内容充実に努力していきたい。

9、活動充実、63支部加盟**◆昭和62年度 代議員会及び支部長会議**

S 61, 9, 28札幌クラブ

- ・一般経過報告（52支部、4,200名）
- ・各支部のスラローム大会へのトロフィーの寄贈
- ・第2回「指導員の集い」の開催
その後、(62, 1開催) 幹事会において、名称を「指導員会の集い」と改めた。

◆シュプール14号（復刊7号）

S 61, 9, 28

—掲載項目前号と変わらず—

一柴田会長巻頭言（要旨）一

私は、「こんな研修会があったら」と夢を追った。誰でも何処の研修会にでも参加でき、会場毎に地域の特性を活かして、SAJのテーマ以外に登山、ツアーやクロスカントリーなどにウェートを。ある会場では、将来のスキー学校のあり方について技術の探求、指導法の探求などなど。上意下達の今研修会のマンネリから抜け出す為の模索を始めなければならない時に来ていると思う。

※ 現在の指導員研修会は、以前に比べ大分上意下達の色は薄められてきている。特に道連は「特色ある研修会」を標榜して、種々の改革に取り組み成果を上げてきている。20数年前に指摘した柴田先生の夢に近づいているのだろうか。

◆オーストリースキー技術特別研修会

S 62, 2, 21～22朝里川温泉

- ・講師 ヘルムート・アゲール
- ①基本姿勢②山開きシステムターン③谷開きシステムターン④山開きパラレルターン⑤谷開きパラレルターン⑥立ち上がりパラレルターン⑦沈みこみパラレルターン⑧ステップターン⑨制限滑降⑩ウェーデルン

◆日本スキー指導員会総会

S 62, 8, 23東京

- ・スポーツ指導員資格付与の問題
- ・日本スキー指導員会がSAJ組織図に外郭団体として位置づけられた
- ・役員改選（会長以外は道指導員会関係のみ）

名誉会長 柴田 信一 顧問 栗林 薫
会長 松浦益司郎 副会長 速水 潔
常任幹事 近藤 晃 幹事 福地 白 飯田誠一

◆第2回全道スキー指導員会の集い（参加者100名）

S 62, 9, 5, 6洞爺湖温泉科学博物館

< 6日 >

- ・開会式 挨拶：小室副会長、柴田会長、
清野室蘭地方スキー連盟会長
- ・講演 講師：志賀次郎（国際ジャーナリスト）
- ・演題 「世界のスキー・日本のスキー
一技法の発展とスキーヤーをめぐる環境」

・懇親会 洞爺湖温泉 翠明荘
< 7日 >

- ・ゴルフコンペ及び有珠山観光

昭和 63 年度代議員会

- ・一般経過報告

第2回全道スキー指導員会報告、日指報告（人事：柴田名誉会長他）

- ・運営方針（柴田会長）

①全国的にも高い評価を受けている「シュプール」の一層の充実

②仲間の親睦交流の点から「全道指導員会の集い」の推進

③内部を固めたら、次は外部へも向かう指導員会でありたい。
SAJ の機構に日指は入っている。道連はまだだが今後推進方を。

- ・規約改正（坂井当時副会長提案）

「日本スキー指導員会」に倣って「基礎スキー」の基礎を取って「北海道スキー指導員会」と名称を変更する。

- ・役員改選

名誉会長 柴田信一 会長 栗林 薫

副会長 佐藤哲郎 速水潔 小室浪一 坂井敏夫 中川伊佐美

監査 二瓶康典 新田利雄

(後日決定)

	部長	副部長	部員
総務部	福地 白	平垣平八郎	松川 恒
事業部	中川 明	石黒 弘	田制 康
広報部	菊池真一郎	竹内 恒夫	中尾 誉
会計部	飯田 誠一	戸塚 浩司	

幹事長 近藤 晃 副幹事長 菊池真一郎

幹事

・栗林新会長挨拶

副会長の中で長老であるからと思う。柴田前会長の意志・方針を継いで努力したい。道連加盟支部のうち 11 支部が未加盟。これを解消したい。

- ・会員数（年度末）：63 支部、4969 名

※ 昭和 54 年 10 月、再起指導員会会長に就任以来、問題を提起し、警鐘を鳴らし、組織の団結を訴えリードしてきた柴田先生が勇退した。横の繋がりを大事にしてきた柴田先生の人柄が 63 支部加盟の数字になって現われている。

◆シュプール15号（復刊8号）

S 62, 9, 27

—掲載項目前号と変わらず—

—付録—

- 1、昭和 37 年までの「指導員一覧（北海道）」

副会長 佐藤 哲郎

- 2、「シュプール」編集内容一覧（発刊から 7 号まで）

事業部

- 3、「シュプール」編集内容一覧（8 号から 14 号まで）

事業部

- 4、「全道スキー指導員会の集い」アンケート解答用紙

※ 佐藤副会長の「指導員一覧」は労作である。S 14, 12 の第1回指導者講習会（五色温泉）から始まって、S 36, 3（小樽）までの指導員合格者 315 名の名前が手書きでびっしりと書かれてある。S 18, 3 最初で最後ただ一度の樺太検定会での合格者 6 名も入っている。柴田会長から、早急に正確なものを作成するよう要請をいただき再調査に着手したら、道連が新たに取りまとめる企画が報せられたので、その完了を待機していたが埒が明かず別箇にまとめたものである。

（中略）柴田先生の指導者番号は 28 号で、1～27 号は SAJ 会長や講師陣に無条件で与えられたものと思う。

◆オーストリースキー特別研修会（参加者 30 名）

S 63, 2, 21 朝里川温泉

- ・講師：オーストリースキー指導員会

エルンスト・ヒンターゼー・J r

- ・受講者報告（旭川 畑山 豊）

—実技指導のポイント（抜粋）—

主にシステムターン、パラレルターンを中心としての指導の中で①谷スキーでしっかりエッジングを強めることにより、システムターンやシェーレンは容易になります。②回転の後半は次の回転の成否に係わるので、大切にする必要があります。③回転にあたっては、両脚の曲げ伸ばしをゆっくり大きく有効に利用することが大切です。ジャンプは、曲げ伸ばしを大きくしたものと考えます。

◆第3回全道スキー指導員会の集い（参加者63名）

S 63, 7, 30札幌フジヤサンタスホテル

- ・講演 講師：北海道大学低温科学研究所助教授 広瀬廉二
 - ・演題 雪氷学からみたスキーの運動（講演内容：抜粋）
「スキーとは」
 - ①地球の引力を最大限に利用する（位置エネルギー → 運動エネルギー）
 - ②摩擦が小さいことを有効に利用する（雪・氷の特異な性質）
 - ③起源は歩く道具
 - ④競技場のコンディションが、場所・日により大きく異なる（世界記録が無い、自然に非常に近い）
 - 「雪とはどんな物質か」
 - ①雪の結晶の種々
 - ②山の雪・里の雪・スキー場の雪
 - ③雪崩は何故起るか・どう防ぐか
 - ④どうすれば速く滑れるか
- ※ 広瀬先生の講演内容を読むと、スキーの原点に立ち戻らされる。位置エネルギーを運動エネルギーに変えること。落下運動であること。近年、SAJ研修会テーマの中で盛んに言われている。特色ある研修会で、自然に非常に近いスポーツであることも改めて認識させられる。

10. 「国家認定スポーツ指導者資格付与」問題

◆平成64年度代議員会及び支部長会議（63支部、5, 229名）

S 63, 9, 29ホワイトランド・イン・札幌

- ・一般経過報告
 - ・日指報告 国家認定スポーツ指導者資格付与について
「地域スポーツ指導者」「競技力向上指導者」「商業スポーツ施設における指導者」に。夫々「初級」「中級（準指導員）」「上級（指導員）」SAJとしては、63年度を目指として青木理事が文部省と折衝中
 - ・協議事項 指導員制度50周年記念行事
- ※ 今も私の手元に、《文部大臣認定「社会体育指導者の知識・技能審査事業」（商業施設における指導者／初級）『C級教師教本』財団法人日本体育協会》なる1020ページにも及ぶ赤布張りの本がある。平成2年12月の車山高原でのSAJ中央研修会で上記の資格付与制度が実質スタートしたときのテキストで、当時冗談で、「昼寝の枕に出来る」と云っていた代物である。

※平成元年9月発行のシュプール巻頭言で栗林薰会長が、“危急存亡のとき”と題して次のように述べている。

「数年前から、マスコミを通じて「社会体育指導者資格付与制度」を耳にしてきた。しかし、我々五千有余名の身分上に関する極めて重大な問題であるにも拘らず、一度も我々下々の意見を訊かれた覚えは無い。（中略）既に見切り発車してしまった折に水を差すようで『今頃なんだ』と批判されることにもなろうが敢えて若干の意見を披露したい。今年は、「スキー指導員制度」が創始されてから満50年を迎える記念すべき年に当たる。日体協に属するスポーツ諸団体で、我がスキー連盟に匹敵するほどの伝統を有するものが他にいくつあるであろうか。この伝統までも崩してのこの制度の導入は、国家統制とでもいべきで、指導員制度の無かった団体に対しては助成の手を差し伸べることはあっても、我々スキー連盟の伝統に対しては寛大な対処の仕方があつてしかるべきではないだろうか。『日指会報インストラクターNo37掲載 準指導員検定が消えるのか？（林幹事長）』の論評の如く、こと準指導員検定のみならず指導員検定も消えるのである。まさに、我々にとっては「危急存亡のとき」と言わざるを得ない」

この問題は、この後しばらく議論されてきたし、今も問題は止まっている。

※ このことに関して、当時の責任者・菅秀文SAJ教育本部長（現日指名譽会長）は昨年の「北海道スキー指導者協会の集い・2008網走ブロック大会」の挨拶で次のように述懐している（シュプールNo36）。

「<文部大臣付与スキー指導者>を作ったのですが、それがいい加減なものでした。文部省のスポーツ課長が、日本体育協会の事務局長に天下りの為の手土産で、<国家認定>ではなかったのです。それを受けたのは私であり責任は私にあります。私は、<国家認定スキー教師・国家認定スキー指導者>としてくださいと条件をつけたのですが、結局は騙されたのです」

※ 何をか言わんや、である。平成2年、<国家検定指導員>を夢見て受講し、必死に何十枚ものレポートを提出して取得した資格の実状が19年後明らかになり、何とも虚しさを感じるのは私だけだろうか。私はこの話を聞いて3年毎の資格継続料納入を止めた。

◆シュプール第16号（復刊9号）

S 63, 924

—掲載内容—

- ・退任にあたって
名譽会長 柴田信一 前にも記述したように、両方とも1年遅れの掲載
 - ・会長就任にあたって
会長 栗林 薫
 - ・研究 4本・Q&A 1本・特別寄稿 4本・紹介 4本
 - ・随想 11本・支部たより 5本・事務局より
 - ・付録（シュプール掲載内容NO. 1～NO. 15）
- ※この号の最大の特徴は、A5版からB5版と紙面を大きくし、縦2段の現在の様式になったことである（表紙緑色は変わらず）。

※研究として、坂井和夫現副会長が「定時制高校でのスキー選手養成」—特色ある学校づくりに俱知安高校定時制の試みーを載せている。先日、同校で学び後に全日本の滑降を制したこともある小倉進君に話を聞く機会があった。「日中、練習がビッシリで夜の勉強は眠かった、先生方は温かかった、励まされた、辛かったが楽しかった。」と語ってくれた。

※平沢文雄先生に「新しいターン技術への模索」を特別寄稿して頂いています。あとがきに「玉稿を掲載し、紙面に一層の彩りを添えさせていただきました」とあるように、大変貴重な原稿の掲載でした。

平沢先生には、「農耕民族と狩猟民族の脚の違い」「伸脚時の脚の内転」などのスキー理論をお聞きする機会があり、また、前述の車山高原での「指導員資格付与講習会」で、先生と机を並べて勉強させていただいて、そのスキーに対する情熱、スキー理論の豊かさには感服させられました。

◆スキー指導員制度50周年記念

「第4回北海道スキー指導員の集い」開催

平成元年7月15日小樽自然の村「おこばち山荘」

- ・表彰：柴田信一名譽会長に表彰状、S 31,1までの資格取得者に感謝状
- ・座談会：「これから指導員と指導員会 — いま指導員に問われること —」
- 出席者：柴田名譽会長、栗林会長、佐藤・坂井・小室副会長、受賞者の先達、菊池広報部長（司会）
- ・記念講演 「第1回指導員講習会の前後（要旨）」
柴田 信一 名譽会長
- 高橋次郎先生が「（S 13年12月、全日本が全国60箇所で講習会）教えることマチマチ、教える形・スタイルは別々。これじゃSAJの講習会としては困る。（S 14年）12月に新しい指導者をつ

くるから、柴田、お前手伝ってくれ」と言われた。」「私は当時、テンポシュブングの言葉が入った時代に、かなり高い姿勢で天狗山の壁を大体3ターンぐらいのロングターンで下りた。ただ、直滑降より曲げの方が難しい。そういう風にやっていたら高橋先生が『サンアントンのベンノー・リビッカのそっくりだ。誰から習ったんだ?』『いや、私一人で考えて、写真なんか見てやっているんです』と答えた」

※ 柴田先生は、「天狗山で直滑降を午前中10本とか、アルペン競技を楽しんでいた」ので、最初は指導者講習会を手伝うのはいやだったようです。「アルペンスキーから基礎スキーに移るのは断腸の思いだった」と話しています。その柴田先生がその高い技術性を持って、戦後、日本の指導者の中心になっていくのです。(次回に続きます)

<参考資料>

- ・北海道スキー指導者協会機関誌 シュプール第8号～第18号
- ・日本スキー教程副読本「カービングスキーのスキー指導」(1997.12.15発行)
- ・文部大臣認定「社会体育指導者の知識・技能審査事業」(商業施設における指導者／初級)『C級教師教本』財団法人 日本体育協会(H 2.10.1発行)
- ・栗林薰編著「北海道一般スキー八十年の歩み」(H 3. 8. 1発行)
- ・柴田信一先生遺稿集 (H 8.1.15発行)

【岩手県】岩手県スキー指導員会

会長 吉田 勇夫

できる範囲で行う

当会の構成所属団体数は、他県と同じように市町村合併に伴い少なくなりつつあり、昨年度末で40団体、会員数は1,033名となっています。

県内40団体を地域別に10ブロックに分けていますが、ブロック内での所属団体間交流は少なく、また全体での行事に於いても一緒に何かをという意識は全く希薄である。

例年実施している行事を次の通り紹介します。

年間予算は、およそ3百万円程度で、各種会議・出張等を除いています。

- ① 指導員会報の発行（新会員の写真と一言紹介などの情報交換事業）
- ② 県連発行のスキーメモ購入配布（各種情報伝達等）
- ③ 全日本スキー技術選手権大会出場選手への補助金交付（約40万円）
- ④ 指導員検定会受験者アドバイザー派遣事業（指導者養成事業）
- ⑤ 新会員（準合格者）への記念品提供（指導者養成事業）
- ⑥ 県連共催によるスキー学校アニバーサリー、リッチ・ベルガー講習会（研修事業）
- ⑦ ゴルフコンペの開催（親睦交流事業）
- ⑧ 慶弔規定による祝事等

それは、冬季スポーツを目的にしている団体が、オフに集まるという企画は関心や興味も薄く、例えば各団体にゴルフコンペの案内を出しても、参加の有無の回答が半分以下という状況からも明かである。

このような状況は昔からであり、つくづく難しいと感じ嘆いていても始まらないので、できる範囲で行うしかないと思うのは私ばかりではないだろう。



平成21年度のゴルフコンペは8名で行いました。(事務局員はカメラマン)

【宮城県】宮城県スキー指導員会

宮城県スキー指導員会事務局

「スキー指導員制度70周年」を記念して

当指導員会は、宮城県スキー連盟と連携しながら指導員の育成と資質の向上並びに親睦の輪を図っております。また、近県のスキー指導員会との交流にも努めております。

平成22年度は「スキー指導員制度70周年」を記念して、宮城県スキー指導員会では、平成21年10月24日(土)に記念式典・講演会そして祝賀会を実施いたします。

今シーズンの行事予定は下記のとおりです。

スキー指導員制度
70周年記念式典

式典 日時 平成21年10月24日(土) 午後2時から
場所 ホテル白萩

講演 午後3時から
講師 (株)スポーツユニティ
代表取締役 村里 敏彰 氏
演題 「スキースポーツの笑顔、
刺激そして自信」

祝賀会 午後4時45分から
※ 70周年と歴代者をおなさんでお祝いしましょう！

平成22年度 事業計画

No	年 月 日	事 業 名	場 所	備 考
1	H21.8.22(土)	総 会	ホ テ ル 白 萩	第1回 役員会実施
2	H21.8.22(土)	交 流 会	ホ テ ル 白 萩	
3	H21.10.24(土)	スキー指導員制度 70周年記念式典	ホ テ ル 白 萩	式典、講演会 祝賀会実施
4	H22.2.6～ H22.2.14	70周年記念事業 海外スキー研修	ヨーロッパ ドロミティ予定	近日リーフレット 発送予定
5	H22.2.28	スキー・ホート準指 合格者入会受付	スキー：オニコウベスキー場 ホート：オニコウベスキー場	ホート2/13
6	H22.5.下旬	日 指 役 員 会	東 京	会長参加予定
7	H22.6.下旬	第2回 役員会	未 定	
8	H22.7.	県連ゴルフ大会協賛	未 定	仙北地区担当
9	H22.7下旬	日 指 総 会	東 京	会長参加予定

【福島県】福島県スキー連盟指導員会

会長 安部英夫

今年の“楽天ゴールデンイーグルス”は面白い
にわか応援団誕生！

9月6日(日)知人に誘われて、“クリネックススタジアム球場”的「楽天応援ツアーワーク」に初参加、もちろん新装に成った球場も初めて訪れたので、その印象を述べたい。

今日の対戦相手は、首位を行く北海道日本ハムファイターズとの3連戦の最後の試合だ。1戦、2戦ともに二桁得点を許し2連敗。先の西武ライオンズ戦と合わせて4連敗中でなんとしても勝ちたい試合。前日、山崎選手は選手全員を集めて「ただの3連敗だろう、いい時も悪い時もみんなでやってきた、やっとCSを狙えるところまで来たんだから、あきらめず自分のやるべきことを果たそう」と気合をいれたと、報じられている。悲願達成へ落ち込んでいる時ではない。だが、今日は、主力投手を使い果たして、次につなぐ谷間の1戦なだけに台所は苦しいが、何としても踏ん張りたいところである。初秋の仙台は、みごとに晴れ渡った青空。強い日差しが照りつけ、真夏を思わせる。

午後1時に試合開始だが、スタンドは、ほぼ満員の19,533人と発表。球場の約8割が楽天応援で盛り上がっている。さすがにご当地、仙台をフランチャイズ

とするだけに、熱気にあふれている。

知人は年間登録会員メンバーの熱狂的な”楽天応援団”なので、自前の応援グッズを持参し、帽子、ユニフォーム、メガホンなどあらゆるもののが楽天マークだ。それを着せられて、熱い！暑い！応援をすることになった。

試合開始前、イーグルフライトと言って、バックスクリーンから一羽の鷲が球場のホームベースに舞い降りる見事なセレモニーがあった。(那須動物王国からの応援だそうです) このセレモニーは、ホームゲームながら、年に4～5回しか実施しないそうだ。続いて楽天の主砲・山崎武司選手の350号本塁打＆1,000打点達成の日本プロ野球連盟から表彰の伝達式が行なわれ、試合前の雰囲気は大いに盛り上がってきた。

先発投手は、長谷部投手。制球力が生命のピッチャーだ。立ち上がりが心配。案の定、2回に1点を献上し重苦しい流れだ。楽天もその裏1点を返して同点に持ち込み、試合を振り出しに戻す。しかし、3回、日本ハム打線につかまって2点をうばわれ、長谷部は敢え無くノックアウト！何とか切り抜けたが、重い2点

だ。だが、ここからが踏ん張りどころの正念場。2番手のピッチャー佐竹、3番手ピッチャー小山が踏ん張り、4回、5回にそれぞれ1点を返して同点とした。

楽天連敗脱出！中村真サヨナラ打

7回に1死3塁、1塁となって1打逆転のチャンス！バッターは草野、打球は左中間へ、犠飛で逆転！と誰しも思った、3塁走者の山崎は本塁へ滑り込んだが、間一髪アウト！同点の9回から守護神、福盛を投入しピンチを脱し、積極的な継投策が見事にはまつた。その裏、球場はサヨナラゲームを戴こう！と球場のアナウンス！盛り上がりは最高潮だ。だが、クリーンナップの鉄平、山崎が敢え無く倒れ、2死、誰もが万事休す！延長戦を覚悟した。ところが、ドラマが待っていた。セギノールが四球、草野がヒットで1・2塁。続くリンデンが四球となって満塁。舞台は整つた。代打の切り札中村真の登場だ。球場内は、割れんばかりの大歓声、全員総立ちの大応援です。

9回2死満塁。中村真の打球は、中堅深くまで飛んでいった。外野手全員かバックホームを狙って前進守備だ、打球を追う俊足の日本ハム糸井は追いついたが、逆風に戻された打球が、急激に失速した。不規則にスライスしながら落ちた打球が、糸井の落球（記録は安

打）を誘った。

最後は天も味方した、と言えそうだ。苦しみながらも、チーム一丸となつてもぎ取つた勝利。ラッキーなヒーローとなった中村は、飛び出してきたチームメートに捕まって、グラウンドに投げられるほど手荒な歓迎を受けた。

クライマックスシリーズへまっしぐら

スタンドは、万歳！万歳！の大合唱。鳴り止まない！誰が予想できたか、このドラマ。なんとも見事なさよならゲームであった。

誰がヒーローと言うよりは、選手全員が一丸となつて勝利への粘り強い、あきらめない戦いが今の楽天にはしっかりと根付いて来た。野村監督の”ぼやき“節で、賑わしているが、それらに惑わされることなく選手一人ひとりのやるべきことをしっかりとこなすことへ集中しているようです。西武が負けたのでゲーム差は3となつたが、まだ、CSへのマジックは点灯しないが、いよいよ秒読み段階に入つて来た。次戦はオリックス、続いてソフトバンク戦だ。連勝街道へまっしぐら、高校野球ではないが、全員野球のはじまりです。

これからが目を離せない毎日になりそうです。楽天ガンバレ！楽天に幸運あれ！

【千葉県】千葉県スキー指導員会

副会長（広報担当）金澤 鉄造

新たな役員体制でスタート

千葉県スキー指導員会は、昨年度は役員改選の年であり、今年度は新たな役員体制でスタートした。

雪なし県の千葉としては、求心力のある指導員会であるための模索をしており、初めての顧問・参与会議を開き、先輩のご意見を伺つた。

また、シーズンオフの事業として、トレッキングに

平成22年度行事予定

	会期	会場	内容
第37回総会 講演会の開催 準指合格者歓迎会 及び親睦会 の開催	平成21年12月5日（土） (総会終了後) 総会・講演会終了後	フローラ西船橋	平成21年度事業報告・決算報告 平成22年度事業計画・予算 講師：外部講師を予定
広報活動	(10月中旬発行の予定)		会報「わかしお」41号の発行
指導者バンク	指導員の登録・派遣事業		
第3回SICステップアップ 講習会		小海リエックス スキーバレー	講師：元SAJデモ・本間尚先生他
SAJ準指導員検定会 (スキー・スノーボード)への 役員派遣			指導員会の組織説明・入会手続き ネームプレートの受付他
トレッキング（尾瀬）	(7月の予定)		
親睦ゴルフ大会の開催	スキーシーズン終了後 (8月の予定)	県内のゴルフ場	
顧問・参与会議			
販売活動	ネームプレート・SIJキャップ・手袋・ワッペン他		

取り組むことにしたが、時期的に間に合わず、この件は来年度に持ち越すことになった。

なお、全員加入が指導員会発足の条件であったが、会費が集まらずに苦慮している。この点他の県で良いご意見があつたらお聞かせ願いたい。

【東京都】東京都スキー指導員会

副会長 萩野 恒夫

新役員で新たなる飛躍へ

昨年の10月11日、当会は40周年の記念すべき年として、都内「スクワール麹町」において、大勢の方々をお招きし盛大に記念式典と懇親会を挙行致しました。アトラクションは、司会に元日本テレビのニュースキャスター真山勇一先生をお願いし、八王子芸妓衆の「雛鶴三番叟」他から、生田流師範の方々による「薫る花」他、ハワイアンバンド・アウトリガーによる演奏で盛り上がり、最後はアウトリガー演奏の「スキーの歌」で全員の合唱になり大盛況のうちに終了致しました。また節目として「創立40周年記念誌」を

発行し、先輩の築いた歴史を記録に残すことが出来ました。今年度は役員の改選もあり新たなる出発として役員一同心を一つにして邁進してまいりますが、一段の飛躍の年とするよう次の行事を設定致しました。特に過去4回実施を致しました海外におけるS A J 指導者研修会は、東京都スキー連盟からの委託を受け、初のヨーロッパにおける研修会をフランス・シャモニーで実施を致します。日本スキー指導者協会の皆様もぜひこの機会にお仲間をお誘い合わせのうえ、ご参加を頂ければ幸いに存じます。

平成22年度行事要項

行 事 名	実 施 時 期	実 施 場 所	講 師 他
1 検定受検のためのスキー講座 「スキー教程改定に伴う 検定受検のポイント」	H21.11.19(木) 18:30~21:00	なかのZERO 小ホール	SAT教育部専門員他
2 指導者研修会時の親睦会	H21.12.11(金) 18:00~	SAT研修会朝里川会場 小樽「青塚食堂」	夕食&親睦のタペ
3 指導員受検のための特別研究会	H22.1.16(土)~17(日)	尾瀬岩鞍スキー場 「ロッヂ岩鞍やまと」	SAT教育部専門員他
4 東京都スキー指導員会複合競技 大会 (第29回SITフェスティバル)	H22.2.13(土)~14(日) 8:00~13:00	菅平高原スキー場 「まるみ山荘」	技術選手権3種目と回転、 回転競技の複合競技大会
5 準指導員合格のための 技術研究会	A) H22.2.26(金)~28(日) B) H22.2.27(土)~28(日) 9:00~16:00	菅平高原スキー場 「ホテルすずもと」	SAT教育部専門員他 Aコース 3日間研修 Bコース 2日間研修
6 第2回テクニックキャンプ リッチャー・ベルガー	H22.3.5(金)~7(日) (予定)	白馬五竜スキー場 「ホテルシェーン ヴァルト」	リッチャー・ベルガー
7 テクニカル・クラウン プライズ・テスト	H22.4.3(土)~4(日)	志賀高原 熊の湯スキー場(予定)	財団法人東京都スキー連盟 委託事業
8 指導者研修会会場 海外	H22.4.9(金)~17(土)	フランス・シャモニー	東京都スキー連盟委託事業 80名を予定
9 準指導員、指導員 合格者歓迎会	H22.4.23(金) 18:30~20:30	薬業健保会館	

東京都スキー連盟行事の支援事業

1 都民大会・クラブ対抗	H22.3.6(土)~7(日)	菅平高原スキー場	温かい飲食物をご用意して選手の皆様が競技に存分にチャレンジして頂けるよう支援いたします。
2 準指導員検定会 行事支援	H22.3.13(土)~14(日)	菅平高原スキー場	温かい飲食物をご用意してリラックスして受検して頂けるよう支援いたします。

【神奈川県】 神奈川県スキー指導員会

会 長 榎本 勝雄

スキーは楽しい。そして上手くなればもっと楽しい。今年も楽しい指導員会を目指して計画いたしました。スキーを通して新しい仲間が増え、人生の感動の場が増えしていく。これから指導員を目指す人も巻き込んで、県連とも協調しながら進んでいく指導員会でありたいと考えています。今年度の活動も去年に引き続き、会員と切磋琢磨できる楽しいスキーライフを提供するために幹事一同、行事や講演会の工夫に知恵を絞っています。情報

交換も兼ねた総会と懇親会、楽しくリラックスできる温泉スキー、定番のスキーヤーズ大会と、日本スキー指導者協会と共に新企画で楽しさとスキーのお友達倍増を狙ったフェスティバルなどを計画いたしました。スノーヴァ新横浜を支援して、子供たちに楽しいスキーを教え将来のスキーヤーに育成するきっかけも継続拡大してまいります。各行事とも皆様のご参加をお待ち申し上げます。

神奈川県スキー指導員会**2009-2010年行事要項**

行 事	行 事 名	期 日
1 .	第79回親睦ゴルフコンペ（秋季大会）	H21. 10/22
2 .	雪上トレーニング講習会	H21. 12/05-06
3 .	草津 スキーと温泉を楽しむ会	H22. 1/11-14
4 .	片品 スキーと花咲温泉ツアード	H22. 1/31-2/2
5 .	第29回オール神奈川スキーヤーズ大会	H22. 2/13-14
6 .	エンジョイスキー in 小海	H22. 3/4-6
7 .	ハンターマウンテン塩原と温泉の旅	H22. 3/14-16
8 .	第26回指導員会フェスティバル 第11回SIJカップフェスティバル車山／共催	H22. 4/3-4/4
9 .	第80回親睦ゴルフコンペ（春季大会）	H22. 7/4-5(予定)
SV1	ジュニアスキー教室（スノーヴァ新横浜）	毎月第4土曜日
SV2	ジュニアスキー教室（菅平）	H22. 2. 予定

※SV1, 2 : スノーヴァ新横浜支援行事

詳細は神奈川県スキー指導員会のホームページ URL <http://sik.arts-k.com>

日本スキー指導者協会 常任幹事会、総会・懇親会 写真

平成21年度第2回常任幹事会 '09.5.24



平成22年度第1回常任幹事会 '09.7.26



平成22年度総会・懇親会 '09.7.26



(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会**平成21年度 第2回常任幹事会 議事録**

日時 平成21年5月24日(日) 11:00~13:30

場所 スクワール麹町 TEL 03-3234-8739
東京都千代田区麹町6-6 〒102-0093

出席者 (順不同敬称略)

名誉役員 林 権一 片岡春夫

副会長 坂井敏夫 渡辺 忍 綱川千夫 半沢 進 阿部雄三 大澤
佑吉常任幹事 藤島勝雄 吉田勇夫 佐藤昭藏 水島秀夫 藤木 昇
監査 榎本建司委任 田 英夫 杉崎壽三男 鈴木勘重 古賀健一
小笠原健一 山崎一正 長澤光雄

顧問弁護士 菅原哲朗

事務局 高橋イキエ 水島 三千夫

1. 開会の辞 阿部副会長

会長欠席と秘書を通じて伝えられた田会長の現況を報告
(詳細は省略)

2. 会長挨拶 坂井副会長(田会長代行)

札幌オリンピックがアマチュアとして最後のオリンピックではないだろうか、以降はプロ化しているように感じている。アマチュアの社会がプロ化に変わってきて現状をどう捉えるか、また、近年、指導員・準指導員が増えていない、むしろ返上する人が増えてきている。我々の意識改革が必要ではないか。この辺を考えなければならない。本日の会議も何か前進するような内容になるよう期待します。

3. 議長選出 議長に渡辺 忍副会長を選出

4. 書記指名 議長より書記に水島事務局次長を指名

5. 議事録署名人選出 議事録署名人に、半沢 進 佐藤昭藏
を選出

6. 議事運営の確認 渡辺 忍議長より資料により議事運営について確認

7. 平成21年度概況報告 水島幹事長

概況を別紙資料により報告説明。

1) 一般報告

(1) 事業別概況報告: 別紙添付資料に基づき説明
大澤副会長、藤木事務局長

① H21年度第1回常任幹事会、総会、懇親会

H20 7/27 50名 ルポール麹町

② 臨時拡大常任幹事会

H20 8/31 16名 ルポール麹町

③ 第15回SIJ親睦ゴルフ大会

H20 9/9 66名 富貴ゴルフクラブ

④ 会報第24号の発行

H20 10/1 16,000部発行

⑤ 第8回みんなで行こうスキーユニバーシティ

H21 1/8-11or12 16名 朝里川温泉スキー場

⑥ 第10回SIJカップフェスティバルスリゾート

H21 3/27-29 中止

2) SAJ報告 特別幹事欠席につき報告なし

3) 会議、事業、本部会計収支報告

(1) 事業収支報告: 藤木事務局長

① 平成21年度第1回常任幹事会並びに総会、懇親会

② 臨時拡大常任幹事会

③ 第15回親睦ゴルフ大会(富貴ゴルフ俱楽部)

④ 第8回みんなで行こうスキーユニバーシティ(朝里川温泉スキー場)

以上の収支につき別紙添付資料により報告説明

(2) 平成21年度収支決算報告: 藤木事務局長

5月15現在の見込み額を報告

総収入 1,527,669円 総支出 1,400,575

次期繰越 127,095円

会議費等未精算費目があるため最終的には10万円前後になる見込みである。

別紙添付資料により報告説明

なお、監査報告を含めた最終の決算報告は、平成22年度第1回常任幹事会にて報告する。

以上、1)から3)項の報告について、賛意を問い合わせ承認された。

8. 審議事項

1) 平成22年度事業計画(案)及び収支計画(案)

本会計予算(案):

大澤副会長(事業担当) 藤木事務局長

別紙添付資料にて説明提案し審議の結果以下の通り了承された。

① 第16回SIJ親睦ゴルフ大会

会場: 那須チサンカントリークラブ

期日: H21.10.11(日) 12(月=祭日)

② 会報第25号の発行

発行部数 15,000部 時期 H21年10月上旬 予算 55万円

原稿締め切り 9月10日

③ 第9回みんなで行こうスキーユニバーシティ

会場: 朝里川温泉スキー場、参加総数 20名

H22年1月上旬

④ 第11回S I Jカップについては、提言内容を考慮に入れ会場、日程を含め内容を見直し、

総会までに大澤副会長を中心に具体化することとした。

<提言内容>

佐藤: 第10回SIJカップフェスティバルスリゾートが参加者不足で中止になった、参加者増加策として、競技に加え技術講習会や観光組を加えるなど内容の見直しが必要。

⑤ 平成22年度本会計予算(案)について: 藤木事務局長

別紙添付資料にて説明提案

予算案については、S I Jカップフェスティバルの内容が定まらないため事業費に変動の可能性がある。

2) 総会について: 水島幹事長

平成22年度総会の開催について以下の提案があり承認された。

日 時 平成21年7月26日(日)

場 所 スクワール麹町

〒102-0093 東京都千代田区麹町6-6 TEL 03-3234-8739

常任幹事会 10:30~12:00 5F 寿

総 会 12:00~12:30 5F 寿

懇 親 会 12:30~14:30 5F 芙蓉

9. 提案事項

1) 役員選出について 水島幹事長

① 次期役員の選出について、回答期限は6月末日までとした。

なお、選出依頼について、前回は全員に依頼状がきたが今回も代表者宛になっていた。変えた経緯について藤島常幹から質問があり、藤木事務局長より、前回全員通知での不都合はなかった。今回は事務経費面より代表者宛にさせていただいた旨の説明があり了解された。

② 現会長が今期で退任する意向を秘書を通して伝えてきた。

次期、会長について意見を含め幹事長宛に書面かメールにて提出することとした。

2) 規約改定について 水島幹事長

INSTRUCTOR No.25

以下の改定案について、討議した結果を踏まえ、平成22年度第1回常任幹事会までに成案して再提案することとした。(別途 規約改定について会議を開催予定)

<改訂案1>

第11条4項 特別幹事はS A Jより派遣されたS A J教育本部担当理事及びS A J経験者の中からS I Jに理解のある有識者から選出する。

<主な討議内容>

藤島常幹：S A J経験者、有識者とあるが、特に人数を定めなくて良いか？

水島幹事長：当面は杉崎氏を想定している、他に出てくるようなら制限は設けなくても良いのではないか。

渡辺議長：これは、特別幹事の選出に幅をもたせた案である。

水島幹事長：「S A J経験者」では幅が広がりすぎるので、「S A J役員経験者」に変更する。

片岡顧問：特別幹事の人数については、第10条で1名になっている複数名が可能なら、「若干名」にする必要がある。その他今回の提案範囲だけでなく見直しを必要とする箇所がまだあるので、更なる検討が必要ではないか。

<改訂案2>

第25条 年会費 別表 北関東ブロック 15万円
県単位(納入は)

<主な討議内容>

片岡顧問：提案による表現では、県ごとに15万円と誤解される。表現を変える必要がある。

水島幹事長：県毎に年会費を割当してあるので、表現については再考する。

<改訂案3>

付則 本規約は、平成21年07月26日改正 特に意見なし

3) その他

渡辺議長：S I Jの法人化については様子を見て、また、会費未納の扱いについて整理をする時期に来ているのではないか、規約改定を含め根幹の議論が必要。

北海道スキー指導者協会70周年記念行事について

藤島常幹

日程 H21年7月4日(土) 三浦雄一郎の講演を予定している。

是非、お出かけください。会場等詳細についてのお問い合わせは北海道スキー指導者会 事務局まで。

10. 書記解任：以上で議事を終了。議長より書記を解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞：半沢 進副会長

貴重な機会なのでもう少し意見交換する時間が欲しかつたが、皆さまの熱心な討議で有意義な会議が運営されたことに謝辞を述べ、本会を閉会とした。

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成21年5月29日

議長 渡辺 忍 印
議事録署名人 半沢 進 印
議事録署名人 佐藤 昭蔵 印

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会 平成22年度 第1回常任幹事会 議事録

日時 平成21年7月26日(日) 10:30～11:57

場所 スクワール麹町 TEL 03-3234-8739

東京都千代田区麹町6-6 〒102-0093

出席者 (順不同敬称略)

名誉役員 菅 秀文 林 権一 片岡春夫

副会長 半沢 進 綱川千夫 渡辺 忍 阿部雄三 大澤佑吉

常任幹事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 佐藤昭藏 山崎一正
水島秀夫 藤木 昇

監査 檀本建司 長澤光雄

オブザーバ 中村啓二郎 (北海道幹事)

委任田 英夫 坂井敏夫 古賀健一 小笠原健一

顧問弁護士 菅原哲朗

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫

開会にあたって、顧問 次井 晨氏(新潟県)のご冥福を祈って黙祷を捧げた。

1. 開会の辞 阿部副会長

秘書を通じて伝えられた田会長の現況と辞任意向について報告(詳細は省略)

2. 会長挨拶 渡辺 忍副会長(田会長代行)

本日は、この後総会を控えており、そういった意味でも重要な会議であります。また、

役員改選の時期でもあります。新しい会長を迎えるなど、日本スキー指導者協会も刷新をはかる時期にきています。これからは、求心力のある日本スキー指導者協会でなければならないと思います。幸いにも、層の厚い豊富な人材を擁していますので、スキー界の一翼を担う日本スキー指導者協会になっていくことを願っています。

3. 議長選出 議長に綱川 千夫副会長を選出

4. 書記指名 議長より書記に水島事務局次長を指名

5. 議事録署名人選出 議事録署名人に、藤島勝雄 山崎一正を選出

6. 議事運営確認 綱川千夫議長より資料により議事運営について確認

規約改正についてを、審議事項3)に追加。

7. 平成21年度概況報告 水島幹事長

概況を別紙資料により報告説明。

1) 一般報告

(1) 事業別概況報告：別紙添付資料に基づき説明

藤木事務局長

① H21年度第1回常任幹事会、総会、懇親会

H20 7/27 50名 ルポール麹町

② 臨時拡大常任幹事会

H20 8/31 16名 ルポール麹町

③ 第15回SIJ親睦ゴルフ大会

H20 9/9 66名 富貴ゴルフクラブ

④ 会報第24号の発行

H20 10/1 16,000部発行

④ 第8回みんなで行こうスキー大学

H21 1/8-11or12 16名 朝里川温泉スキー場

⑤ 第10回SIJカップフェスティバルスリゾート

H21 3/27-29 中止

2) S A J報告 特別幹事欠席につき報告なし

3) 会議、事業、本部会計収支報告

(1) 事業収支報告：藤木事務局長

別紙添付資料により報告説明

①平成21年度第1回常任幹事会並びに総会、懇親会

②臨時拡大常任幹事会

③第15回親睦ゴルフ大会（富貴ゴルフ俱楽部）
 ④第8回みんなで行こうスキーユニバーサル（朝里川温泉スキー場）
 (2) 平成21年度収支決算報告（本部会計）藤木事務局長
 別紙添付資料により報告説明
 総収入 1,516,099円 総支出 1,516,099円
 次期繰越 105,954円

4) 監査報告 長澤 光雄監査

別紙添付資料により監査の内容と結果について報告説明
 以上、1)から4)項の報告について、賛意を問い合わせ承認された。

8. 審議事項

1) 平成22年度事業計画（案）及び収支計画（案）：
 大澤副会長（事業担当）

別紙添付資料にて説明提案。

①第16回SIJ親睦ゴルフ大会（秋季）

会場：那須チサンカントリークラブ 参加総数：80名
 期日：H21.10.11（日）12（月=祭日）

②会報第25号の発行

発行部数 15,000部 時期 H21年10月上旬 予算 55万円
 原稿締め切り 8月31日

③第9回みんなで行こうスキーユニバーサル

会場：朝里川温泉スキー場、参加総数20名
 H22年1月上旬

④第11回S I Jカップフェスティバル in 車山

会場：長野県車山高原
 期日：H22.4.3（土）4（日） 参加総数 200名

2) 平成22年度本会計予算（案）： 藤木事務局長
 別紙添付資料にて説明提案。

収入の部合計 4,728,904円 支出の部合計 4,640,250円
 収支差額 88,654円

以上、1)、2)項の提案について賛意を問い合わせ承認された。

3) 規約改正について

この件については今後1年かけて抜本的な改正を行う予定なので、今総会ではその他の項で「規約改正の流れ」を渡辺副会長から説明することにした。

4) 役員改選について

(1) 役員推挙委員会開催にあたり、推挙委員が水島幹事長より紹介された。

推挙委員5名を了承

藤島勝雄 吉田 勇 阿部雄三（古賀健一より委任）
 山崎一正 水島秀夫

(2) 別室で役員推挙委員会を開催、この間、常任幹事会は中断（休憩約5分間）

(3) 常任幹事会を再開

資料「役員候補一覧」「名誉役員」にて推挙委員会の結果が報告され、審議の結果
 役員推挙委員会の提案を承認した。

9. その他

役員候補が了承されたことを受けて、坂本祐之輔氏（会長候補）を綱川議長が紹介しご挨拶をいただいた。（詳細省略）

・歴史と伝統ある日本スキー指導者協会の発展に応えていくため、皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

10. 書記解任：以上で議事を終了。議長より書記を解任
 11. 議長解任
 12. 閉会の辞：水島幹事長
 熱心な討議に謝辞を述べ、本会を閉会とした。
 以上の議事録を証するため下記に署名する

平成21年8月26日

議長 綱川千夫
 議事録署名人 藤島勝雄
 議事録署名人 山崎一正

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成22年度総会議事録

日時 平成21年7月26日（日）12:00～12:55

場所 スクワール麹町 TEL 03-3234-8739

東京都千代田区麹町6-6 〒102-0093

出席者（順不同敬称略）

名誉役員 菅秀文 林権一 片岡春夫 荒井哲夫 福岡孝純
 副会長 半沢進 綱川千夫 渡辺忍 阿部雄三 大澤佑吉
 常任幹事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 佐藤昭藏 山崎一正
 水島秀夫 藤木昇

幹事 中村啓二郎 庄司高士 中森博文 高橋イキエ 水島三千夫

出席監査 榎本建司 長澤光雄

特別幹事（SAJ理事） 谷雅雄

委任 田英夫 坂井敏夫 古賀健一 小笠原健一

顧問弁護士 菅原哲朗

事務局 藤木昇 高橋イキエ 水島三千夫

定足数報告 水島秀夫幹事長

H21.7.26現在 定数34名 出席 計30名（出席21名 委任9名）過半数超

本会規約第20条により総会は成立しております。

1. 開会の辞 阿部副会長

2. 会長挨拶 渡辺副会長（田会長代行）

いま、S I Jは組織、事業をはじめ大きく変革しようとしています。日本のスキーの歴史を感じる先生方の層の厚さをみまして、この会はもっと発展していくのではないかと感じています。

日本のスキー指導者の一つの会として中心的役割をもってスキー界の活性化のために、それぞれ貢献していかなければならぬ会ではないかと思っております。そうした意味で、この総会は役員改選を含め大きく変わろうとしている意義ある会であります。皆さまの忌憚のない意見を出し合って有意義な会にしていきたいとおもいますのでよろしくお願いします。

3. 議長選出 綱川千夫副会長を選出

4. 書記指名 議長より書記に水島三千夫事務局次長を指名

5. 議事録署名人選出 議事録署名人に藤島勝雄 山崎一正を選出

6. 議事運営確認 綱川千夫議長より議事運営について確認

7. 報告事項

平成21年度概況報告 水島幹事長

別紙資料により報告説明：未曾有の不景気、スキー界を取り巻く厳しい環境下での執行状況の概況を報告

INSTRUCTOR No.25

1) 一般報告

- (1) 事業別概況報告：別紙添付資料に基づき説明
藤木事務局長

① H21年度第1回常任幹事会、総会、懇親会

H20 7/27 50名 ルポール麹町

② 臨時拡大常任幹事会

H20 8/31 16名 ルポール麹町

③ 第15回SIJ親睦ゴルフ大会

H20 9/ 9 66名 富貴ゴルフクラブ

④ 会報第24号の発行

H20 10/ 1 16,000部発行

⑤ 第8回みんなで行こうスキーユニバーサルスキー場

H21 1/ 8-11or12 16名 朝里川温泉スキー場

⑥ 第10回SIJカップフェスティバルinソリゾート

H21 3/27-29 中止

2) S A J 報告 谷 雅雄特別幹事

① 教程改訂について

新教程は、9月上～下旬に発刊予定なので各地での理論講習会には間に合う見込み

② 検定員規程について

教程の改訂をうけて検定員規程も改訂になる、教程発刊後になるのではないか

③ 潜在スキーヤーが戻ってくることを願っている

スキーワールドを取り巻く環境は大変厳しい、レジャーに費やす支出は右肩上がりであり、このような中でどのように頑張っていくか、潜在スキーヤーの呼び戻しにS I J が一つの核になるとも認識しています。

3) 会議、事業、本部会計収支報告

- (1) 事業収支報告： 藤木事務局長

別紙添付資料により報告説明

① 平成21年度第1回常任幹事会並びに総会、懇親会

② 臨時拡大常任幹事会

③ 第15回親睦ゴルフ大会（富貴ゴルフ俱楽部）

④ 第8回みんなで行こうスキーユニバーサルスキー場

- (2) 平成21年度収支決算報告(本部会計)：藤木事務局長

別紙添付資料により報告説明

総収入1,516,099円 総支出1,516,099 次期繰越105,954円

4) 監査報告 長澤 光雄監査

別紙添付資料により監査の内容と結果について報告説明

以上、1)から4)項の報告について、賛意を問い合わせ承認された。

8. 審議事項

1) 平成22年度事業計画（案）及び収支計画（案）：

大澤副会長（事業担当）

別紙添付資料にて説明提案。

① 第16回SIJ親睦ゴルフ大会（秋季）

会場：那須チサンカントリークラブ 参加総数：80名

期日：H21.10.11（日）12（月=祭日）

② 会報第25号の発行

発行部数15,000部 発行時期H21年10月上旬 予算55万円

原稿締め切り 8月31日

③ 第9回みんなで行こうスキーユニバーサルスキー場

会場：朝里川温泉スキー場、参加総数20名 H22年1月上旬

④ 第11回S I J カップフェスティバルin車山

会場：長野県車山高原

期日：H22.4.3（土）4（日） 参加総数200名

2) 平成22年度本会計予算（案）： 藤木事務局長

別紙添付資料にて説明提案。

収入の部合計4,728,904円 支出の部合計4,640,250円

収支差額88,654円

以上、1)、2)項の提案について賛意を問い合わせ承認された。

3) 役員改選について

役員推举委員会より、資料「役員候補一覧」「名誉役員」にて役員候補（任期2009/6～2011/5）が提案された。

議長より賛意を問い合わせ、満場一致で承認された。

坂本祐之輔氏 新会長就任のご挨拶（詳細省略）

只今、皆さまから暖かいご承認をいただき会長に就任をさせていただきました坂本祐之輔です。よろしくお願いします。

日本スキー指導者協会名誉会長でいらっしゃいます菅先生、前会長でいらっしゃいます田先生、歴代の会長さん役員の皆様方が嘗々として築かれてこられた伝統と歴史のある日本スキー指導者協会であります。この協会に、私ごときものが会長職に就任させていただいて務まるものかどうかということで、ずいぶん悩み、そしてまたご相談いただきました阿部先生、水島先生、渡辺先生にも、代々木記念体育館で十分にお話をいたいた中で、私といたしましては皆様方のご推挙がいただければということで、ご承諾させていただいた次第です。

スキーを愛する者として今の社会状況のなか、スキーの普及振興さらには技術力の向上に全力を尽くしてまいりたい。埼玉県にも2009名の指導員がおりますが年々減りつつある、この資格返上ということもいろいろ問題点はあるかと思いますが、皆様方のお声をおきかせいただき、日本スキー指導者協会が今まで残された功績を私が無にすることなく確実に次の世代に伝えていくような、そういった日本スキー指導者協会に発展させていただきたいと存じておりますので変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げる次第です。

9. その他

規約改訂の流れについて、渡辺副会長より説明を行った。

日本スキー指導者協会の再構築にむけて規約改正を現在進めています。

主な事項は、①会員の定義：現在のブロック単位に幅をもたせて、県単位や指導員会が組織化されていない所では個人でも加入できるような方向を模索している。②会費未納の問題：時効との関連もあり整理する時期にきており。③特別顧問：学識経験者など定義の枠を広げる等で、規約全般にわたって見直しを行い、来年度には全面改訂したものを示せるよう進行していることを報告。

以上の報告事項について、賛意を問い合わせ承認された。

10. 書記解任：以上で議事を終了。議長より書記を解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞： 水島幹事長

熱心な討議に謝辞を述べ、本会を閉会とした。

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成21年8月22日

議長 佐々木一夫 印

議事録署名人 水島幹事長 印

議事録署名人 山崎一正 印



平成 21 年度 事 業 別 概 況 報 告

開催年月日		事 業 内 容	会 場
1	H20年7月27日 参加総数50名	H21年度第1回常任幹事会、総会、懇親会 役員事務局 26名 他24名	ルポール麹町
2	H20年8月31日 参加総数16名	臨時拡大常任幹事会 日本スキー指導者協会のありかたについて	ルポール麹町
	H20年9月9日 参加総数66名	第15回SIJ親睦ゴルフ大会 岩手県1、宮城県3、埼玉23 千葉県4、東京都16、神奈川県19	富貴ゴルフ倶楽部
3	H20年10月1日	会報第24号 発行	16,000部
4	H21年1月8日 ~11・12日 参加総数16名	第8回みんなで行こうスキーホール 大学	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
5	H21年3月27~29日	第9回S I J フェスティバルinルスツ 参加者3月4日現在40名と少なく中止	ルスツリゾート

平成 21 年度 決 算 報 告 書

1. 収入の部

(▲予算比減)

科 目	予算額	決算額	内訳金額	予算比増減	摘 要
繰 越 金	133,476	133,476		0	前年度より
年 会 費	4,089,000 990,000 3,099,000	772,500		▲3,316,500	本年度分 過年度分
会 議 費	300,000	250,500		▲49,500	
事 業 費	1,870,000	301,700		▲1,568,300	
用 品 販 売 費	20,000	7,700		▲12,300	
雑 収 入	200	50,223		50,023	
合 計	6,412,676	1,516,099		▲4,896,577	

2. 支出の部

(▲予算比減)

科 目	予算額	決算額	内訳金額	予算比増減	摘 要
会 議 費	450,000	443,546		▲6,454	
事 業 費	2,546,000	762,350		▲1,783,650	
用 品 加 工 費	0	0		0	
通 信 費	70,000	65,920		▲4,080	
事 務 費	70,000	31,623		▲38,377	
事務所借用料	50,000	20,000		▲30,000	
渉 外 費	50,000	26,391		▲23,609	慶弔(弔電、生花)
木-ムハ-シ- 費	60,000	60,315		315	
雑 支 出	10,000	0		▲10,000	
支 出 合 計	3,306,000	1,410,145		▲1,895,855	
未収金会費予備費	3,099,000	0			
繰 越 金	175,764	105,954		▲69,810	
合 計	6,580,764	1,516,099		▲5,064,665	

平成 22 年度 事 業 計 画

	開催年月日	事 業 内 容	会 場
1	H21年10月11日（日） ～12（月＝祝）募集 80名	第16回SIJ親睦ゴルフ大会 参加費3,000円、ゴルフ会費10,000円	那須チサンCC
2	H21年10月 上旬	会報25号の発行 発行部数15,000部	
3	H22年1月8日（金）～11日（月） 募集 20名	第9回みんなで行こうスキーハウス	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
4	H22年4月3日（土）～4日（日） 募集 200名	第11回SIJカップフェスティバルin車山 会員参加費15,000円（泊・リフト含） ゲスト参加費16,000円（泊・リフト含） 子供参加費11,000円（泊・リフト含）	車山高原スキー場 スカイバーカークホテル

平成 22 年度 本 会 計 予 算

1. 収入の部

科 目	予 算 額	前 年 予 算 額	増 減	摘 要
繰 越 金	105,954	133,476	-27,522	
年 会 費	772,500	4,089,000	-3,316,500	22年度分
	772,500	990,000		22年度は未収分除く
	0	3,099,000		
会 議 費	225,000	300,000	-75,000	
事 業 費	3,625,250	1870,000	1,755,250	親睦ゴルフ大会
	665,250			SAJスキーハウス企画料
	20,000			SIJカップフェスティバルin車山
用 品 販 売 費	2,950,000			
雜 収 入	0	20,000	-20,000	
合 計	4,728,904	6,412,676	-1,683,772	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	前 年 予 算 額	増 減	摘 要
会 議 費	410,000	450,000	-40,000	
事 業 費	4,035,250	2,546,000	1,489,250	
用 品 加 工 費	0	0	0	
通 信 費	50,000	70,000	-20,000	
事 務 費	35,000	70,000	-35,000	
事務所借用料	20,000	50,000	-30,000	
涉 外 費	20,000	50,000	-30,000	
ホーリー・ジッピング 費	60,000	60,000	0	
雜 支 出	10,000	10,000	0	
支 出 合 計	4,640,250	3,306,000	1,334,250	
未 収 金 会 費 予 備 費	0	3,099,000	-3,099,000	22年度は未収分除く
予 備 費	88,654	175,764	-87,110	
合 計	4,728,904	6,580,764	-1,851,860	

財全日本スキー連盟日本スキー指導者協会規約

第1章 総 則

- 第 1 条 (名 称) 本会は、(財) 全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会
(英文名 SKI INSTRUCTOR OF JAPAN、略称 S. I. J.) という。
(事 務 所) 第 2 条 本会の事務所は東京に置く。

第2章 目的および事業

- 第 3 条 (目 的) 本会は、スキー指導員相互の情報交換を活発にし、横の連携をはかり親睦と併せて資質の向上をはかることを目的とする。
(事 業) 第 4 条 前条の目的を達成するため次ぎの事業を行う。
1. 会員の強化発展と相互の連絡融和を図ること。
2. (財) 全日本スキー連盟への協力。
3. 機関紙の発刊。
4. その他本会の目的達成に必要な事業。

第3章 会 員

- 第 5 条 (会 員) 本会の会員は、S. A. J. 公認スキー指導員並びに準指導員により構成する各都道府県の団体を会員とする。
(名 誉 会 員) 第 6 条 本会に名譽会員を推薦することができる。
2. 名譽会員については別に定める規程による。
(贊助会員) 第 7 条 本会の目的に賛同しその事業に協力する個人または団体を贊助会員とする。
2. 贊助会員については別に定める規程による。
(会員の義務) 第 8 条 会員は原則として本会の行う事業に協力または参加するものとする。
2. 会員は別に定められた会費を納入しなければならない。
(退 会) 第 9 条 会員が退会するときは、その理由を付し退会届を会長に提出しなければならない。

第4章 役 員

- 第 10 条 本会に次ぎの役員をおく。
2. 会長 1 名、副会長若干名、常任幹事若干名、特別幹事 1 名、監査 3 名、幹事各県 1 名。
3. 会長推薦による副会長、常任幹事、幹事を若干名おくことができる。
4. 幹事長 1 名、副幹事長 1 名。
(役員の選任) 第 11 条 前条の役員は、総会で選任する。
2. 会長、監査は常任幹事会で推挙する。 推挙の方法は別に定める。
3. 各ブロック（全国 7 ブロック）より副会長 1 名、常任幹事 1 名を各県は幹事 1 名宛選出する。
4. 特別幹事は SAJ より派遣された SAJ 教育本部担当理事とする。
5. 幹事長および副幹事長は常任幹事会の互選による。
(役員の職務) 第 12 条 会長は本会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは合議により会長の代行をする。
3. 常任幹事は、会務を施行する。
4. 特別幹事は常任幹事会および総会に参画し、SAJ の指針および報告をする。
5. 幹事は、第 3 条の目的に応じた会の運営にあたる。

- (監査の職務) 第 13 条 監査は会議に出席し意見をのべることが出来る。 ただし議決に加わる事は出来ない。
次ぎの各号に定める業務をおこなう。
2. 財産の状況を監査する。
3. 業務執行の状況を監査する。
4. 監査の結果、必要があると認めたときは会長に総会を招集するよう要請することができる。

- (役員の任期) 第 14 条 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。
2. 役員はその任期満了後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を行う。
3. 補充または増員により選任された役員の任期は、現任者の残存期間とする。
(役員の解任) 第 15 条 役員が次ぎの各号に該当したときは幹事現在数の 3 分の 2 以上の出席する総会に於いて出席者の 3 分の 2 以上の議決を経て会長がこれを解任することができる。
2. 心身の故障のため職務執行にたえられないと認められたとき。
3. 職務上の義務違反、その他役員にふさわしくない行為があると認められたとき。
(役員の報酬) 第 16 条 役員は有給とができる。
2. 役員の報酬は、総会の議決を経て会長が定める。

- (名 誉 会 員、名 誉 顧 問、特別 顧 問、顧 問、參 与、會 友) 第 17 条 本会に名譽会員、名譽顧問、特別顧問、顧問、参与、会友をおくことができる。
2. 名譽会長は本会の会長であったものを総会に図り会長が推戴し委嘱することができる。
3. 名譽顧問は本会の名譽会長であったもの、及び同等の功労のあった者を総会に図り会長が推戴し委嘱することができる。

INSTRUCTOR No.25

- 4. 顧問は本会の発展に特に功労のあったものを総会に図り会長が委嘱する。
- 5. 参与は本会の常任幹事・監査として、特に功労のあったものを総会に図り会長が委嘱する。
- 6. 会友は本会の役員として、特に功労のあったものを総会に図り会長が委嘱する。

(局員)
第18条 本会の事務処理を行うために中央事務局を置く。

- 2. 中央事務局の構成は次ぎの通りとする。
局長1名、次長2名以内、局員若干名。
- 3. 局長は会長が任命し、常任幹事とする。次長は幹事とする。
- 4. 局員は会長が任命する。
- 5. 局員は有給とすることができます。但しその報酬は常任幹事会の議決を経て会長が定める。

第5章 会議

(総会)
第19条 総会は会長以下、副会長、常任幹事、特別幹事、幹事、監査をもって構成し最高の議決機関とする。

- 2. 総会は会長が招集する。但し会長が必要と認めたとき、または幹事現在数の過半数から会議に付すべき事項を示して総会の招集を請求されたときは、これを30日以内に招集しなければならない。
- 3. 総会の議長は会長もしくは会長の指名するものとなる。
- 4. 必要に応じて会長は、名誉会長、名誉顧問、特別顧問、顧問、会友、参与に出席を求める事ができる。

(総会の定数および議決)
第20条 総会は幹事現在数の2分の1以上の出席がなければ開催出来ない。

- 但し、委任状をもって他の幹事に委任したものは出席者とみなす。
- 2. 総会の議決は、この規約の別段の定めがある場合を除き出席者（各県1票）の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決する。

(常任幹事会)

第21条 常任幹事会は、会長、副会長、常任幹事、特別幹事、監事をもって構成し会長が隨時に招集する。また必要に応じ会長は名誉会長、名誉顧問、特別顧問および顧問に出席を求める事が出来る。

- 2. 常任幹事会は次の業務を処理する。
 - (1) 事業計画、予算の立案および執行。
 - (2) 規約、諸規程に関する事項。
 - (3) 役員の選考に関する事項。
 - (4) その他必要と認める事項。

(会員への通知)

第22条 通知の全ては原則として会員あて送付される。

(議事録)

第23条 総会および常任幹事会は議事録を作成し、議長および出席者の代表2名が署名押印の上これを保存する。

第6章 会計

(会計年度)

第24条 会計年度は毎年6月1日より5月31日までとする。

(会費)

第25条 本会の経費は次ぎの各号を以って充当する。

- 2. 年会費は会員数割りによるブロック単位とし、その金額は別表による。
- 3. 寄付金 4. 補助金 5. 事業収入 6. その他の収入

別表

北海道ブロック	20万円	東北ブロック	20万円	南関東ブロック	20万円	西日本ブロック	15万円
北関東ブロック	15万円	甲信越ブロック	15万円	東海北陸ブロック	15万円		

第7章 雜則

(細則)

第26条 本規約施行上必要な事項に関する細則は別に定めることができる。

細則の設置

(規約の改廃)

第27条 本規約の改廃は総会にて行う。

付則	本規約は、	昭和58年10月30日施行	平成06年07月17日改正	平成11年07月18日改正
		昭和61年12月03日改正	平成07年07月12日改正	平成13年08月05日改正
		昭和62年08月23日改正	平成09年07月12日改正	平成15年08月02日改正
		昭和63年08月27日改正	平成10年07月19日改正	平成16年07月31日改正

(根拠)

本規約の第26条に基づき諸細則を次ぎのように定める。

- 1) 第11条2項の推举について推举委員会を設け次ぎのように定める。
 - (1) 推举委員会は各ブロック1名の計7名による常任幹事で構成する。
常任幹事が欠席の場合、そのブロックの代表者で補充することができる。
 - (2) 推举委員会は、会長、及び監査の任期満了前、及び必要に応じて開催する。
 - (3) 推举委員会は、直ちに会長、及び監査に対して留任意思の有無を確認する。
 - (4) 留任の意思が表明された場合は、推举委員会で協議し、認否を定める。
 - (5) 前項による協議の結果、必要な場合は各ブロックに対して、会長、及び監査候補者の推薦を求める。
各ブロックの推薦する候補者は各1名以下とし自他のブロックに拘らない。
- 2) 慶弔に関しては必要と認められるものについて、その都度会長の決裁による。

以上

(財)全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会 役員名簿 2009.6~2011.5

☆は会長推薦、役員空白部分は各ブロック・県の総会時期との関係で届出待ち。

中央事務局

局長 藤木昇 神奈川県 規約18条2項による常任幹事
次長 高橋イキ工 東京都 規約18条2項による幹事
〃 水島三千夫 神奈川県 規約18条2項による幹事
局員 関根紀光 埼玉県
廣田伝次郎 東京都
井駒利一 神奈川県

平成22年度行事へのお誘い

第9回みんなで行こうスキー大学 (第1会場)



◎指導者の頂点に位置するデモンスト레이ターの精鋭が、最新の技術動向をリアルタイムに表現し適切な指導法であらゆる疑問点を解消してくれます。

◎指導員研修会扱いになり、予め加盟団体で申し込めば検定員クリニックにもなり、指導員検定会受検班の設定もあります。

正月明けの連休です。1人参加で宿の手配等が大変な方には打ってつけ！

S A Jの承認を得て、往復航空料金と宿泊をセットにしたツアーを企画。

期　　日　　A日程 2010年1月8日（金）～11日（月）
　　　　　B日程 2010年1月8日（金）～10日（日）

交　　通　　羽田 - 新千歳間 往復航空機（航空機以外の交通機関は、各人手配、各人負担となります。）

会　　場　　北海道 朝里川温泉スキー場

宿　　舎　　朝里クラッセホテル 1室2～3名相部屋 北海道小樽市朝里川温泉2-676 TEL 0134-52-3800
日　　程　　現地での詳細日程は、当日スキー大学現地総務の発表によります。

記号	出発	羽田発	帰着	新千歳発	ツアー内容及び代金(サ諸税込)
A朝	1月7日（木）	7～8時頃	1月11日（月）	19～21時頃	往復航空機4泊4朝食 58,900円
A夕	同上	18～20時頃	同上	同上	58,900円
B朝	1月7日（木）	7～8時頃	1月10日（日）	19～21時頃	往復航空機3泊3朝食 46,900円
B夕	同上	18～20時頃	同上	同上	46,900円

申　　込　　1. スキー大学への申込 20,000円を添え各加盟団体に申込。

2. このツアーへの申込 日本スキー指導者協会のホームページの要項で申込んでください。

募集人員 20名

問合せ先 日本スキー指導者協会 事務局 東京都新宿区西新宿3-15-5-304 TEL/FAX 03-3374-3855

第11回S I Jカップフェスティバル in 車山

全国のスキー指導員とそのお友達のお祭りです。
友交の輪を拡げましょう!!



主催:日本スキー指導者協会(SIJ) 共催:神奈川県スキー指導員会(SIK)

期　　日　　平成22年4月3日（土）～4月4日（日）

会　　場　　長野県茅野市 車山高原スキー場

日　　程

4月3日 PM 1:00～3:00 開会式(スカイプラザ前)

チュービング／スノーシュートラベル・甘酒・ジュース提供(スカイプラザ前)

ポール講習会・特別講習会(スカイシティ前)

PM 5:45～9:00パーティ(夕食、選手会、抽選会)(スカイプラザ2F)

4月4日 AM 9:00～13:30大回転競技(スカイシティ前)

組別 平成22年4月1日の満年齢で、男女とも5歳刻みで組分け

本　　部　　車山高原スカイパーカー 0266-68-2221 FAX-2687 〒391-0301長野県茅野市車山高原

宿　　舎　　車山高原スカイパーカー (参加者には会期中プール無料開放)

参加資格 日本スキー指導者協会の会員とその友人。

参加料 メンバー(各県の指導員会会員)：15,000円。 小学生：11,000円。

ビジター(会員外)：16,000円。 (現地受付にて支払い)

(1泊2食、パーティリフト2日券、講習会、大会、抽選会費全てを含む)

申　　込　　日本スキー指導者協会のホームページの要項で申込んでください。

募集人員 200名

「4月2日横浜駅西口天理ビル18時発・JR八王子駅南口多摩信金駅前支店19時半発のバス往復5000円を運行。

帰りは現地4日14時発、八王子18時・横浜19時半着予定。ホテル前日半泊朝食付費用は6300円」

ご参考：4月3(土)午前には信州・諏訪大社の七年に一度の「御柱祭」の先陣を切って、上社御柱祭山出しのクライマックス「木落し」が、茅野市の宮川小学校脇の27度の急坂であります。

問合せ先 藤木 昇 (電話・ファックス) 045-774-8155 (携帯) 070-5597-3118

大澤 佑吉(電話) 045-321-5588 (ファックス) 045-321-5580 (携帯) 090-3917-5678

事務局だより

SIJ事務局は会長への報告や方針の打合せ、執行方法の決定や行事企画立案等のお手伝い、幹事会や総会までの各種準備、総会決議事項の実行など、幹事長の指示のもと、事務局の幹事と東京近県の副会長、常任幹事、幹事を交え事務局会議を適宜開催しながら会全体の運営のお手伝いをしております。

総務機能として各県役員または指導員会宛の通知、会費納入のお願い、常任幹事会と総会資料の作成と会議の手配、議事録の作成、スポンサー募集とお礼状の発送、慶弔に関する連絡と手配等を行っております。

特に会費の納入状況が芳しくないため、経費的にも運営が苦しい状況です。

広報としては会報の企画編集、寄稿依頼と手作り発行、執行内容のホームページへの掲載維持等です。ホームページは会報と共に全国のスキー指導者の連携と一体感をかもしだすために重要な要件と考えています。是非皆様の投稿やニュース寄稿、ご意見の提供をお願い致します。

事務局員は皆様と出会い、行事や会報によって会員の方々との連携を実感しながら、また楽しみながら仕事を進めております。更に喜びの多いSIJとして行きたくよろしくお願ひ申し上げます。
現在の事務局員の担当は下記のようになっています。

事務局長 藤木 昇常任幹事(神奈川)、事務局次長 総務担当 高橋イキエ幹事(東京)

事務局次長 広報担当 水島三千夫幹事(神奈川)

事務局員 関根 紀光(埼玉) 廣田伝次郎(東京)、井駒 利一(神奈川)

新任事務局員紹介



関根紀光



廣田伝次郎



井駒利一



座右の銘

人生楽しく！！

趣味・特技

ボウリング

ツーリング

座右の銘

明るく、楽しく、元気良く

趣味・特技

スキー、ヨット

(最近、始めました…)

座右の銘

忍

川の流れに身をまかせて生活している現在
良い言葉が浮かびません、強いて言うなら
「忍」です。何事にも堪え忍んで楽しい
スキーを長く続けていきたいと思います。

※事務局会議※

事務局会議 H21/7/1 拡大事務局会議

場所 京橋区民館 洋室1号

出席者 阿部副会長、渡辺副会長、大澤副会長、水島幹事長、

山崎常任幹事、佐藤常任幹事 藤木昇、高橋イキエ

役員選出について、規約改正について、会費未納分の扱いについて



会費納入のお願い

日本スキー指導者協会の運営は、全国各県の指導員会組織(SAJの各県連組織を含む)からの会費が基本になっております。皆様から頂く年額120万円の会費は全国の指導員への情報提供とコミュニケーションの場であるこの会報の発行とホームページの維持に殆んどが費やされています。

また滞納気味の県もあり当会の運営は財政的に非常に苦しい状況です。このような事情から誠に勝手ながら、本年度の会報発行に合わせ、会費未納の各県の指導員会事務所に請求書をお届けさせて頂きますので、何とぞ年内納入にご協力頂きたく節にお願い申し上げます。

尚、既にご納付されました各位には心よりお礼申し上げます。

事務局長 藤木 昇

2010年度 関係団体一覧

北海道	0144-72-4060	藤島勝雄様方
青森県	0172-48-3490	財団法人青森県スキー連盟内
岩手県	019-656-6655	財団法人岩手県スキー連盟内
宮城県	022-375-9524	宮城県スキー連盟内
秋田県	018-832-0563	秋田県スキー連盟内
山形県	023-647-5020	山形県スキー連盟内
福島県	0242-62-4504	福島県スキー連盟内
茨城県	029-221-7737	茨城県スキー連盟内
栃木県	028-622-3571	栃木県スキー連盟内
群馬県	027-231-1966	群馬県スキー連盟内
埼玉県	048-853-2710	埼玉県スキー連盟内
千葉県	047-751-2100	千葉県スキー連盟内
東京都	03-3262-2491	財団法人東京都スキー連盟内
神奈川県	045-311-9807	財団法人神奈川県スキー連盟内
新潟県	0258-82-1680	財団法人新潟県スキー連盟内
富山県	076-442-3110	富山県スキー連盟内
石川県	076-273-3543	石川県スキー連盟内
福井県	0779-66-3411	福井県スキー連盟内
山梨県	0551-48-3170	NPO法人山梨県スキー連盟内
長野県	026-264-5888	財団法人長野県スキー連盟内
岐阜県	0577-34-3133	岐阜県スキー連盟内
静岡県	054-252-3718	静岡県スキー連盟内
愛知県	052-757-6277	愛知県スキー連盟内
三重県	0593-94-6981	三重県スキー連盟内
滋賀県	077-578-0945	滋賀県スキー連盟内
京都府	075-692-3487	京都府スキー連盟内

大阪府	06-6975-2064	大阪府スキー連盟内
兵庫県	078-802-0558	兵庫県スキー連盟内
奈良県	0743-67-0760	奈良県スキー連盟内
和歌山県	0736-73-3723	和歌山県スキー連盟内
鳥取県	0859-52-2290	鳥取県スキー連盟内
島根県	090-8998-1110	島根県スキー連盟内
岡山県	086-801-9090	岡山県スキー連盟内
広島県	082-293-3230	広島県スキー連盟内
山口県	083-927-9655	山口県スキー連盟内
徳島県	0883-53-0008	徳島県スキー連盟内
香川県	087-841-3818	香川県スキー連盟内
愛媛県	0898-24-0676	愛媛県スキー連盟内
高知県	088-831-9213	高知県スキー連盟内
福岡県	092-503-6106	福岡県スキー連盟内
佐賀県	0955-56-8037	佐賀県スキー連盟内
長崎県	0957-53-4266	長崎県スキー連盟内
熊本県	0964-28-0028	熊本県スキー連盟内
大分県	097-541-6698	大分県スキー連盟内
宮崎県	0986-58-3274	宮崎県スキー連盟内
鹿児島県	099-225-1309	休会中
沖縄県	098-850-9273	沖縄県スキー連盟内

(社)全日本学生スキー連盟 03-3384-7913
 全国高体連スキー部 0278-56-2310
 (群馬県立尾瀬高等学校内)
 全日本スキー連盟 03-3481-2315

S.I.J.のホームページ <http://sij.arts-k.com/> へ是非お越し下さい。



《編集後記》

ウインタースポーツ界をとりまく諸環境は依然として厳しいなか、新会長を迎えた新たなスタートをしたS I J。これを機会に、執行内容を総点検して次世代につなげていくこと、時勢にあわせて改革をすることなど思い切った発想の転換が求められる。新風を満帆に受けた船出に幸多かれ。 M



INSTRUCTOR

日本スキー指導者協会会報 (第25号) (非売品) 平成21年10月1日発行
 編集人 編集委員会 発行人 坂本 祐之輔
 印刷所 水戸屋紙工株式会社 発行所 日本スキー指導者協会中央事務局
 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-15-5-419
 TEL & FAX 03-3374-3855 E-mail ikie@nifty.com URL <http://sij.arts-k.com/>